

V-Drums

TD-27

DRUM SOUND MODULE

リファレンス・マニュアル



目次

準備編

TD-27 の概要	6
ドラム・キット	6
メモリー	7
各部の名称とはたらき	8
周辺機器を接続する	10
リア・パネル	10
サイド・パネル	11
準備する	12
スタンドに取り付ける	12
電源を入れる／切る	12
電源を入れる	12
電源を切る	12
ハイハットの設定をする	13
VH-10 / VH-11 の設定をする	13
VH-13 の設定をする	13
奏法について	14
スネア／タム	14
ハイハット	15
シンバル	15

演奏編

演奏する	17
ドラム・キットを選ぶ	17
クロス・スティック奏法を使う	17
鳴っている演奏音をすべて止める (ALL SOUND OFF)	17
ドラム・キットを順番に呼び出す (SET LIST)	18
セット・リストを作る	18
セット・リストを使う	19
曲に合わせて演奏する	20
スマートフォンの曲に合わせて演奏する	20
MIX IN 端子にケーブルを接続する場合	20
Bluetooth で無線接続する場合	20
ソングに合わせて演奏する	21
曲に合わせてクリック (メトロノーム) を再生する	23
クリック・トラックを準備する	23
曲とクリックを再生する	23
練習する	24
クリック (メトロノーム) を鳴らす	24
クリックをオン／オフする	24
コーチ・モードで練習する	24
ビートに合わせて正確に叩く (TIME CHECK)	24

身体でテンポを覚える (QUIET COUNT)	25
ウォーム・アップ (WARM UPS)	26

録音する	27
演奏を録音する	27
ソングと一緒に演奏を録音する	27
パソコンに接続して録音する	28
USB ドライバーをインストールする	28

キット・エディット編

ドラム・キットをエディットする	30
サウンド・モディファイつまみでエディットする	30
[KIT EDIT] ボタンでエディットする	31
インストを重ねて鳴らす (SUB INSTRUMENT)	33
エディット前のドラム・キットと聴き比べる／戻す (SNAPSHOT)	34
オーディオ・ファイルを取り込む／鳴らす (USER SAMPLE)	35
オーディオ・ファイルを取り込む (IMPORT)	35
ユーザー・サンプルをインストに割り当てる／鳴らす	36
ユーザー・サンプルを一覧表示する (LIST)	36
ユーザー・サンプルを整理する	38
その他の設定をする	39
ドラム・キットの名前を変更する (KIT NAME)	39
ドラム・キットごとにテンポを設定する (KIT TEMPO)	40
パッドごとに MIDI 送受信の設定をする (KIT MIDI)	40
パッドを叩いたときに特定のパッドの音をミュートする (MUTE GROUP)	41
パッドを叩く位置で音の鳴りかたを変える (POSITION)	41
音色の変化をコントロールする (PEDAL BEND)	42
ブラシ演奏をする (BRUSH SW)	42
[DRUM KIT] ボタンやつまみの点灯色を設定する (KIT COLOR)	42
設定をコピーする (COPY)	43

システム設定編

各種設定をする (SYSTEM)	46
SYSTEM の基本操作	46
Bluetooth の設定をする (BLUETOOTH)	46
SD カードにデータをバックアップする (SD CARD)	47
すべての設定をバックアップする (SAVE)	47
バックアップ・データを SD カードから読み込む (LOAD)	47
SD カードにドラム・キットをバックアップする (1 KIT SAVE)	48
キット・バックアップ・データを SD カードから読み込む (1 KIT LOAD)	48
バックアップ・データを SD カードから削除する (DELETE / 1 KIT DELETE)	49
SD カードの使用状況を確認する (INFO)	50
SD カードを初期化する (FORMAT)	50
トリガーの設定をする (TRIGGER)	51
パッドの種類を設定する (BANK)	51
ハイハットの設定をする (HI-HAT)	51
デジタル接続対応パッドを設定する (DIGITAL) ..	52
パッドの感度を調節する (PARAM)	52
各パッドのトリガー情報を見る (MONITOR)	53
他のパッドの振動による誤発音を防ぐ (クロストーク・キャンセル)	54
音の出力先を設定する (OUTPUT)	55
出力の経路 (ルーティング) を設定する	57
USB オーディオの設定をする (USB AUDIO) ...	58
USB ドライバーの設定をする	58
USB オーディオの出力先を設定する	58
USB オーディオの入力を設定する	59
MIDI の設定をする (MIDI)	59
オプション設定をする (OPTION)	60
フットスイッチやパッドに機能を割り当てる (CONTROL)	60
AUTO OFF 機能の設定をする (AUTO OFF) ..	61
本機に関する情報を表示する (INFO)	62
工場出荷時の設定に戻す (FACTORY RESET) ..	62

資料編

エラー・メッセージ	64
その他のメッセージ	65
故障かな?と思ったら	66

主な仕様

ローランド TD-27:ドラム・サウンド・モジュール

ドラム・キット数	100 (プリセット: 50 以上)
音色数	700 以上
ユーザー・サンプル	ユーザー・サンプル数: 最大 500 (製品出荷時のユーザー・サンプルを含む) 音の長さ (合計): モノ 24 分、ステレオ 12 分 取り込み可能なファイル形式: WAV (44.1kHz、16 / 24 ビット)
エフェクト	パッド・コンプレッサー (パッドごと) パッド・イコライザー (パッドごと) オーバーヘッド・マイク・シミュレーター ルーム/リバーブ マルチ・エフェクト: 3 系統、30 種類 マスター・コンプレッサー マスター・イコライザー
Bluetooth	対応規格: Bluetooth 標準規格 Ver 4.2、対応プロファイル: A2DP (オーディオ)、GATT (MIDI over Bluetooth Low Energy)、対応コーデック: SBC (SCMS-T 方式によるコンテンツ保護に対応)
ソング・プレーヤー (SD カード)	ファイル形式: WAV (44.1kHz、16 / 24 ビット)、MP3 *1
レコーダー	レコーディング方法: リアルタイム、最大録音時間: 60 分 (一時録音: 3 分) *2 ファイル形式: WAV (44.1kHz、16 ビット)
ディスプレイ	グラフィック LCD 256 × 80 ドット
外部メモリー	SD カード (SDHC 対応)
接続端子	TRIGGER INPUT 端子× 1 (キック、スネア、タム 1、タム 2、タム 3、ハイハット、クラッシュ 1、ライド、ライド・ベル、ハイハット・コントロール): 25 ピン D-sub タイプ *3 TRIGGER IN 端子× 4 (クラッシュ 2、AUX1、AUX2、AUX3): TRS 標準タイプ *3 DIGITAL TRIGGER IN 端子× 3: USB A タイプ MASTER OUT 端子× 2 (L/MONO, R): 標準タイプ DIRECT OUT 端子× 2 (MONO): 標準タイプ PHONES 端子× 1: ステレオ標準タイプ MIX IN 端子× 1: ステレオ標準タイプ MIDI 端子× 2 (IN, OUT/THRU) USB COMPUTER 端子× 1: USB B タイプ FOOT SW 端子× 1: TRS 標準タイプ DC IN 端子
USB COMPUTER 端子	速度: Hi-speed USB、ドライバー・モード: ジェネリック/ベンダー、対応通信: USB-MIDI / USB-Audio *4

USB オーディオ	サンプリング周波数 (オリジナル): 44.1kHz、サンプリング周波数 (サンプリング・レート・コンバーター使用): 96kHz、48kHz、録音: 28 チャンネル、再生: 4 チャンネル
電源	AC アダプター (DC9V)
消費電流	770mA
外形寸法	238 (幅) × 204 (奥行) × 79 (高さ) mm
質量 (AC アダプターを除く)	1.1kg
付属品	クイック・スタート (保証書含む) 『安全上のご注意』チラシ ユーザー登録カード 音源マウンティング・プレート 蝶ネジ (M5 × 10) × 2 AC アダプター 専用接続ケーブル
別売品	パッド: PD シリーズ、PDX シリーズ、BT シリーズ シンバル: CY シリーズ キック: KD シリーズ、KT シリーズ ハイハット: VH-13、VH-11、VH-10 ハイハット・コントロール・ペダル: FD シリーズ アコースティック・ドラム・トリガー: RT シリーズ フットスイッチ: BOSS FS-5U、FS-6 パーソナル・ドラム・モニター: PM シリーズ ノイズ・イーター: NE シリーズ

- *1: オーディオ・ファイルは、SD カードに保存されている必要があります。
- *2: 録音には、SD カードが必要です。SD カードがない場合、約 3 分間の一時録音が可能ですが、本体への保存はできません。
- *3: デジタル接続対応パッドと排他利用です。
- *4: USB オーディオを使用するには、ベンダー・モードに変更してベンダー・ドライバーを使用する必要があります。

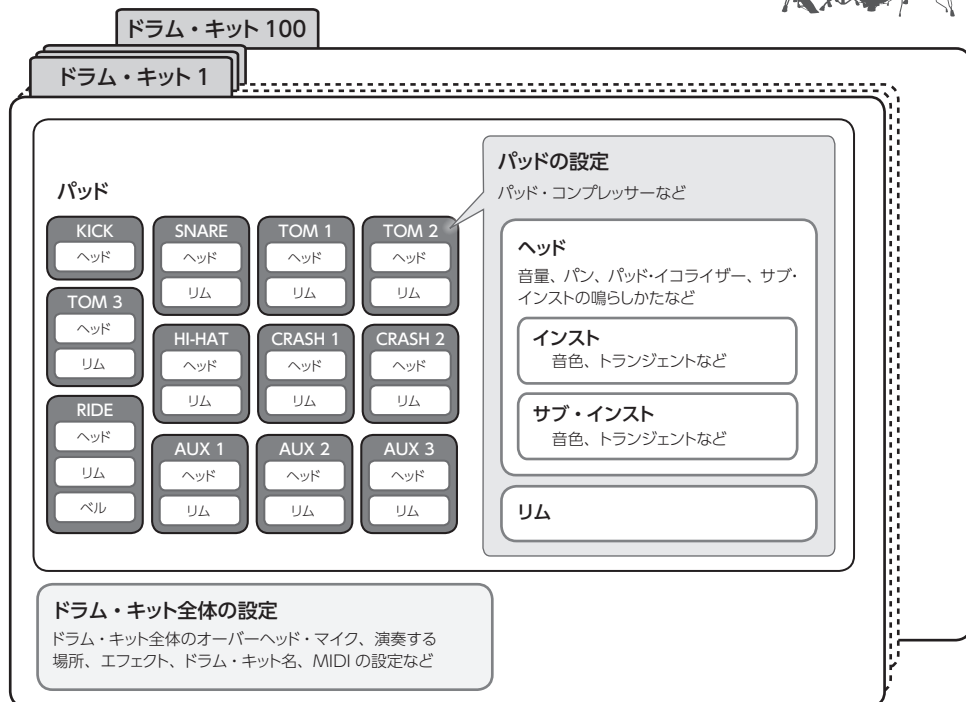
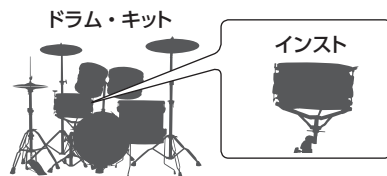
※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

準備編

TD-27 の概要

ドラム・キット

本機では、各パッド（スネア、キック、シンバルなど）を叩いたときに鳴る音色を「インスト」と呼びます。各パッドに割り当てたインストのセットを「ドラム・キット」と呼びます。ドラム・キットの構成は、以下のようになっています。



メモ

- ドラム・キットの設定を変更すると、変更した設定が自動的に保存されます。
- ドラム・キットの詳細なパラメーター構成については、『データ・リスト』（PDF）をご覧ください。

インスト

スネア、キックなどの楽器音のことを「インスト」と呼びます。各パッドのヘッドとリムなど叩き分ける箇所それぞれにインストが割り当てられています。

- インストごとに、音色やアタック、リリースの調節などを設定することができます。
- ヘッドの種類やシェルの深さ、残響など各インストの設定を変更することで、幅広い音作りができます。
- パソコンで作成したオーディオ・ファイルを SD カードから本機に取り込み、インストとして鳴らすことができます（ユーザー・サンプル機能）。

ドラム・キット

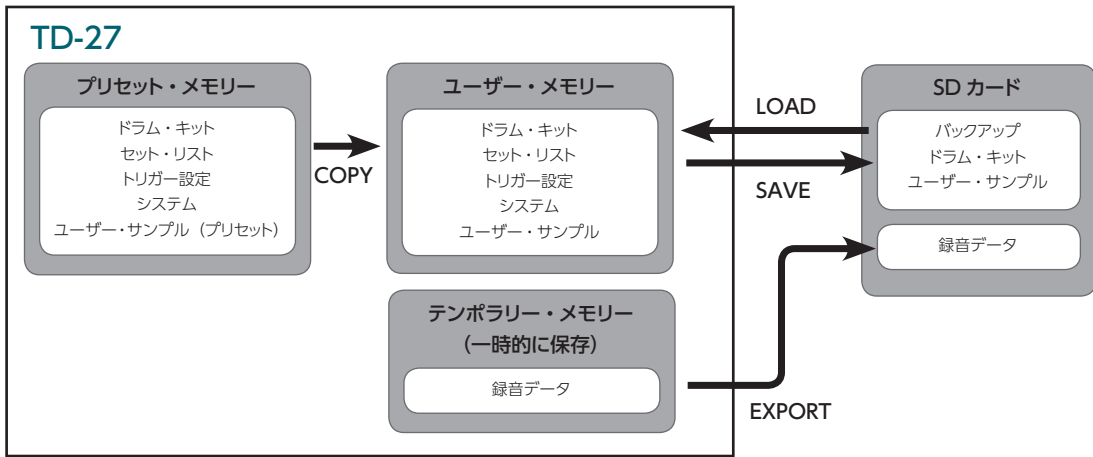
各パッドに割り当てたインストのセットです。ドラム・キット全体を集音するオーバーヘッド・マイクや演奏する場所、エフェクトなど、ドラム・キット全体にかかる設定ができます。

エフェクト

本機のエフェクトには、パッドの叩き分ける場所ごとにかかるもの（パッド・イコライザーなど）、パッドごとにかかるもの（パッド・コンプレッサーなど）、ドラム・キット全体にかかるもの（MFX、マスター・コンプなど）があります。

メモリー

ドラム・キットやトリガーなどの設定が保存されている場所を、「メモリー」と呼びます。



プリセット・メモリー

工場出荷時の設定が保存されています。ファクトリー・リセットを実行すると、ユーザー・メモリーが工場出荷時の設定になるように、プリセット・メモリーの内容が自動的にコピーされます (P.62)。

以下の設定が、プリセット・メモリーに記憶されています。

- ドラム・キット (P.6)
- セット・リスト (P.18)
- トリガー設定 (P.51)
- システム (P.46)
- ユーザー・サンプル (プリセット) (P.35)

※ ユーザー・サンプル (プリセット) はコピーできません。また、ファクトリー・リセットを実行することで、ユーザー・メモリーのユーザー・サンプルを工場出荷時の状態に戻すことができます。

ユーザー・メモリー

ドラム・キットのエディットや演奏に使用する設定が保存されます。SDカードやプリセット・メモリーのデータを読み込む、またはコピーすることもできます (P.43)。

以下の設定が、ユーザー・メモリーに保存されています。

- ドラム・キット (P.6)
- セット・リスト (P.18)
- トリガー設定 (P.51)
- システム (P.46)
- ユーザー・サンプル (P.35)

テンポラリー・メモリー (一時的に保存)

本機で録音したデータ (1 曲) を、本体の一時的なエリアに記憶します。テンポラリー・メモリーの録音データは、SDカードにエクスポートすることができます (P.27)。

- ※ 録音には、SDカードが必要です。SDカードがない場合、約3分間の一時録音が可能ですが、本体への保存はできません。録音した曲をSDカードに保存 (エクスポート) する場合は、あらかじめSDカードを挿入しておきます。
- ※ 電源を切ると、テンポラリー・メモリーに録音したデータは消去されます。

SDカード

SDカードには、ユーザー・メモリーに保存されている設定を1セットとして、99セットまで保存 (バックアップ) しておくことができます。バックアップとは別に、ドラム・キットを999個保存することができます。

また、本機の録音データを、SDカードに保存することができます。

メモ

- SDカードに保存したデータは、ユーザー・メモリーにロードまたはコピーすることができます。詳しくは、「SDカードにデータをバックアップする (SD CARD)」 (P.47) または「設定をコピーする (COPY)」 (P.43) をご覧ください。
- SDカードのフォルダー構成については、「SDカードのフォルダー構成」 (P.22) をご覧ください。

各部の名称とはたらき

ディスプレイ

操作に応じて、さまざまな情報を表示します。

電源を入れてしばらくすると、DRUM KIT 画面（基本画面）が表示されます。

→ 「ドラム・キットを選ぶ」 (P.17)

ファンクション・ボタン ([F1] ~ [F5])

画面の表示によって機能の変わるボタンです。機能は画面下部に表示されます。

[●] ボタン

演奏を録音します。

→ 「録音する」 (P.27)

[▶/■] ボタン

内蔵曲や録音した演奏データの再生／停止や、録音の開始／停止をします。

→ 「曲に合わせて演奏する」 (P.20)

→ 「録音する」 (P.27)

[SONG] ボタン

デモ演奏やバックイング（伴奏）用の曲の再生など、ソングに関する設定をします。

→ 「ソングに合わせて演奏する」 (P.21)

[CLICK] ボタン

クリック（メトロノーム）を鳴らしたり、テンポや拍子などの設定をしたりします。

→ 「クリック（メトロノーム）を鳴らす」 (P.24)

[COACH] ボタン

コーチ・メニューで、演奏レベルに合わせたドラム練習ができます。

→ 「コーチ・モードで練習する」 (P.24)

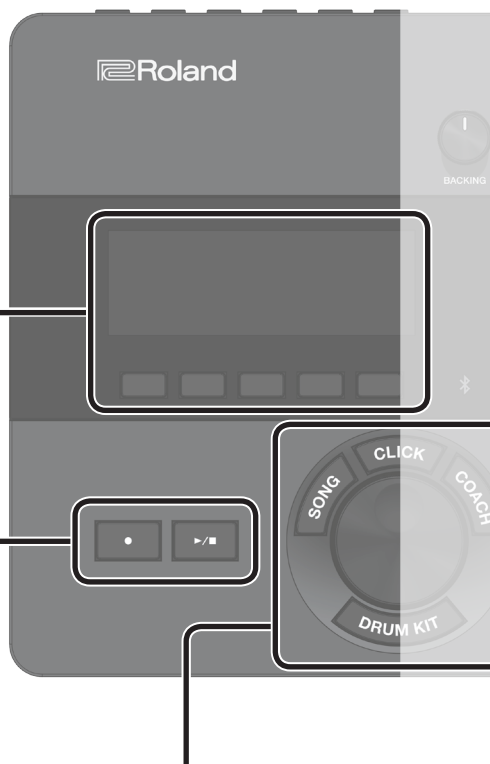
[DRUM KIT] ボタン

ドラム・セットの音（ドラム・キット）を選ぶ、基本画面を表示します。また、他の画面から基本画面に戻るときに押します。

→ 「ドラム・キットを選ぶ」 (P.17)

ダイヤル

DRUM KIT 画面（基本画面）で、ダイヤルを回してドラム・セットの音（ドラム・キット）を選びます。また、カーソル・ボタンで選んだパラメーターの設定値を変えます。



[BACKING] つまみ

内蔵曲やフリック（メトロノーム）、MIX IN 端子や Bluetooth で接続したスマートフォンの音量を調節します。

- 「曲に合わせて演奏する」 (P.20)
- 「フリック（メトロノーム）を鳴らす」 (P.24)

[PHONES] つまみ

PHONES 端子に接続したヘッドホンの音量を調節します。

[MASTER] つまみ

MASTER OUT 端子に接続したアンプ内蔵スピーカーなどの音量を、調節します。

サウンド・モディファイつまみ

([INSTRUMENT]、[LEVEL]、[TUNING]、[MUFFLING])

パッドの音色（インスト）を選んだり、選んだインストの音量（レベル）や音の高さ（チューニング）、余韻の長さ（マフリング）を調節したりします。

- 「ドラム・キットをエディットする」 (P.30)

Bluetooth インジケータ

インジケータの表示で Bluetooth の接続状況を確認できます。

スマートフォンなどと無線接続して、スマートフォンに入っている曲を再生しながらドラム演奏することができます。

消灯	Bluetooth 未接続
点滅	ペアリング中
点灯	Bluetooth オーディオ接続済み ※ 接続時／切断時に、数回高速点滅します。 ※ Bluetooth MIDI の場合は、接続が完了しても Bluetooth インジケータは点灯しません。スマートフォンなどでお使いのアプリ画面に「接続済み」と表示されます。

- 「スマートフォンの曲に合わせて演奏する」 (P.20)
- 「ソングと一緒に演奏を録音する」 (P.27)

[KIT EDIT] ボタン

ヘッドの種類やシェルの深さなど、ドラム自体のカスタマイズから残響の調節まで、幅広い音作りができます。

- 「ドラム・キットをエディットする」 (P.30)

[USER SAMPLE] ボタン

パソコンで作成したオーディオ・ファイルの本機に取り込み、インストとして鳴らすことができます。

- 「オーディオ・ファイルを取り込む／鳴らす (USER SAMPLE)」 (P.35)

[SYSTEM] ボタン

TD-27 のシステム設定をします。

- 「各種設定をする (SYSTEM)」 (P.46)

[EXIT] ボタン

操作をキャンセルします。または、前の画面に戻ります。

カーソル・ボタン ([<] [>] [^] [v])

画面上的カーソルを上下左右に移動させ、パラメーターを選びます。

[ENTER] ボタン

操作を決定します。または、次の画面に進みます。

また、[ENTER] ボタンを押しながら [SYSTEM] ボタンを押すと、設定するパッドが切り替わらないようにできます (Trig Lock 機能)。

周辺機器を接続する

リア・パネル

[POWER] スイッチ
電源をオン/オフします。

→ 「電源を入れる/切る」
(P.12)

**MIDI 端子
(IN, OUT/THRU)**
外部音源などの MIDI 機器
と接続します。接続には、
MIDI ケーブル (市販) を
使います。

→ 「MIDI の設定をする
(MIDI)」 (P.59)



MIX IN 端子
オーディオ・プレーヤーや
スマートフォンなどを接続
します。スマートフォンに
保存されている曲に合わせ
て演奏したり、録音したり
することができます。

→ 「スマートフォンの曲
に合わせて演奏する」
(P.20)
→ 「ソングと一緒に演奏を録
音する」 (P.27)

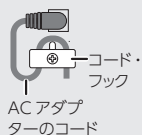


DIRECT OUT 端子 (1, 2)
ミキサーなどを接続します。
ライブ会場などで、PA ミ
キサーにキックやスネアの
音色を送って個別に調整す
るときに便利です。

→ 「音の出力先を設定する
(OUTPUT)」 (P.55)



DC IN 端子
付属の AC アダプター
を接続します。
※AC アダプターのコード
は、底面のコード・
フックを使って図のよ
うに固定してください。



TRIGGER INPUT 端子
付属の専用接続ケー
ブルを取り付けて、パ
ッド類やペダルを接続し
ます。

**DIGITAL TRIGGER IN
端子 (1, 2, 3)**
デジタル接続対応のパ
ッド (PD-140DS, CY-
18DR など) を接続し
ます。

→ 「デジタル接続対応パ
ッドの設定」 (P.11)



FOOT SW 端子
フットスイッチ (別売:
BOSS FS-5U, FS-6)
を接続します。ペダル
操作でドラム・キットを
呼び出すなど、さまざ
まなコントロールがで
きます。

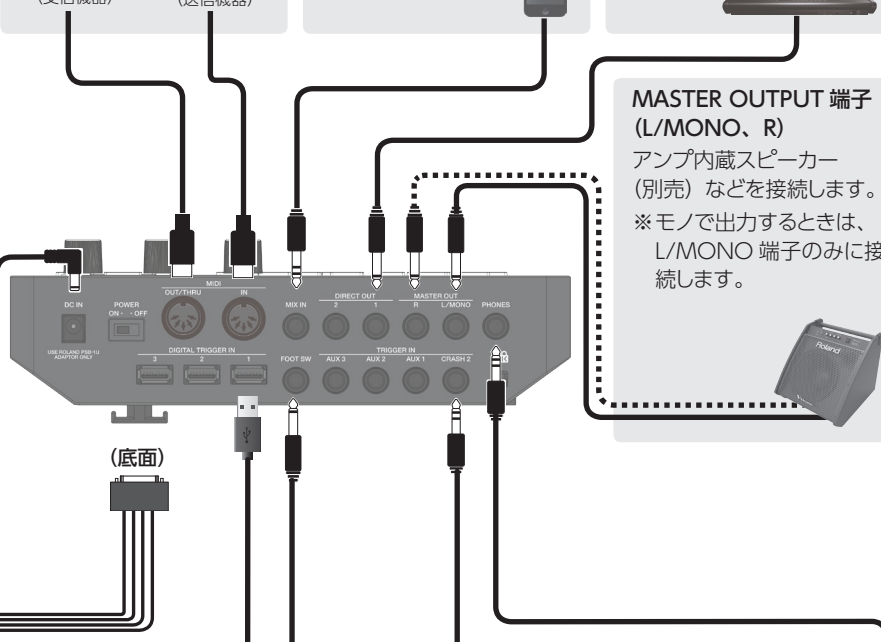
→ 「フットスイッチやパ
ッドに機能を割り当
てる (CONTROL)」
(P.60)



**TRIGGER IN 端子
(CRASH 2, AUX 1 ~
AUX 3)**
CRASH 2 に、クラッシュ・
シンバルを接続します。
AUX1 ~ AUX3 は、パ
ッド類を増設するときに使
います。



PHONES 端子
ヘッドホン (別売) を
接続します。
※ヘッドホンを接続
しても、MASTER
OUTPUT 端子に接
続したアンプ内蔵ス
ピーカーからは音が
出ます。



※他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞る、すべての機器の電源を切ってください。

サイド・パネル

SD カード・スロット

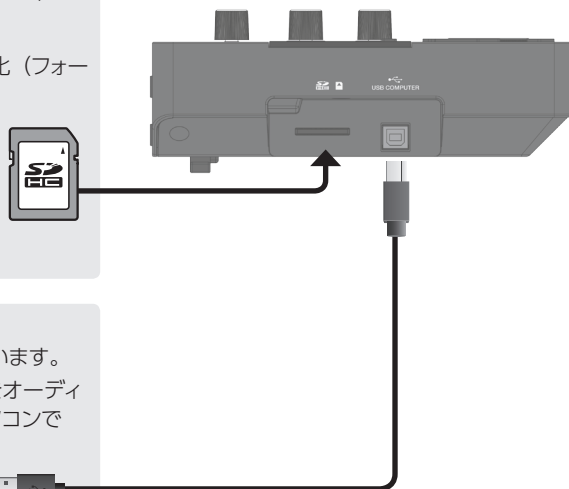
市販の SD カード (SDHC カード (32GB) まで対応) を挿入します。SD カードには、バックアップ (伴奏) 用の曲や本機の設定を保存することができます。また、ユーザー・サンプルの取り込みや、録音した演奏データの保存などにも使います。

- 「SD カードを初期化する (FORMAT)」 (P.50)
- 「ソングに合わせて演奏する」 (P.21)
- 「録音する」 (P.27)
- 「オーディオ・ファイルを取り込む／鳴らす (USER SAMPLE)」 (P.35)
- 「SD カードにデータをバックアップする (SD CARD)」 (P.47)

※初めて SD カードを使うときは、必ず本機で SD カードを初期化 (フォーマット) してください (P.50)。

※画面に 「Processing...」 「Now Saving...」 と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、SD カードを抜いたりしないでください。故障の原因となります。

※SD カードのメーカーや種類によっては、本機で正しく録音や再生ができないことがあります。



USB COMPUTER 端子

パソコンと接続します。接続には、USB ケーブル (市販) を使います。DAW ソフトウェア (市販) へ 28ch のマルチ・トラックで演奏をオーディオ録音したり、MIDI 録音したりすることができます。また、パソコンで再生した音を本機で鳴らすことができます。

- 「パソコンに接続して録音する」 (P.28)
- 「USB オーディオの設定をする (USB AUDIO)」 (P.58)



デジタル接続対応パッドの設定

デジタル接続対応のパッドを DIGITAL TRIGGER IN 端子に初めて接続すると、以下の画面が表示されます。画面に従って、接続したパッドをどのトリガー・インプットに割り当てるか設定します。

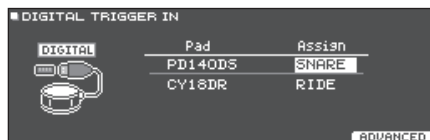
※ 専用接続ケーブルや TRIGGER IN 端子につないだパッドと同じトリガー・インプットに割り当てると、TRIGGER INPUT 端子と TRIGGER IN 端子に接続したパッドの音は出力されません。



参照

詳しくは、「デジタル接続対応パッドを設定する (DIGITAL)」 (P.52) をご覧ください。

1. カーソル・ボタンで 「OK」 を選び、[ENTER] ボタンを押します。



2. カーソル・ボタンで設定するパッドを選び、ダイヤルでアサインを設定します。

※ 同じアサインを複数設定することはできません。

設定例

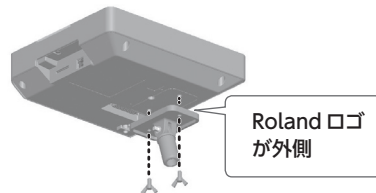
Pad (パッド)	Assign (アサイン)
PD140DS	SNARE
CY18DR	RIDE

3. [DRUM KIT] ボタンを押して、DRUM KIT 画面に戻ります。

準備する

スタンドに取り付ける

付属の音源マウンティング・プレートを使って、本機をドラム・スタンド（別売：MDS シリーズなど）に取り付けます。付属の蝶ネジを使って、図のように取り付けます。



- ※ 付属の蝶ネジ以外は使わないでください。故障の原因になります。
- ※ 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやつまみなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。

メモ

シンバル・スタンドなどに本機を取り付ける場合は、オール・パーパス・クランプ（別売：APC-10）を使って音源マウンティング・プレートを固定してください。

電源を入れる／切る

※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

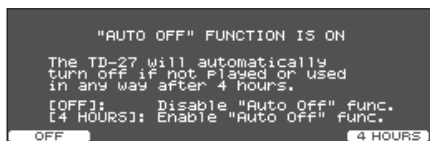
電源を入れる

1. 本機にヘッドホン（別売）、またはアンプ内蔵スピーカー（別売）を接続します。

※ アンプ内蔵スピーカーを接続した場合は、アンプ内蔵スピーカーの音量を最小にします。

2. 本機リア・パネルの [POWER] スイッチを、ON にします。

電源を入れると、以下の画面が表示されます。



この画面では、一定時間経過すると電源が自動的に切れるようにするかを設定できます（AUTO OFF 機能）。

ボタン	説明
[F1] (OFF)	電源は自動的に切れません。
[F5] (4 HOURS)	4 時間以内にパッドを叩かなかったり何も操作をしなかつたりすると、電源が自動的に切れます。

- ※ AUTO OFF 機能を「OFF」に設定していると、この画面は表示されません。
- ※ 本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます（Auto Off 機能）。自動的に電源が切れないようにするには、Auto Off 機能を解除してください（P.61）。
電源を再びオンにするときは、電源を入れ直してください。

3. アンプ内蔵スピーカーを接続した場合は、アンプ内蔵スピーカーの電源を入れます。

4. ヘッドホンの音量は [PHONES] つまみで、アンプ内蔵スピーカーの音量は [MASTER] つまみで調節します。

電源を切る

注意

本機で変更した設定は、電源を切るときに保存されます。必ず [POWER] スイッチを OFF にして、電源を切るようにしてください。

1. 本機にアンプ内蔵スピーカーを接続した場合は、アンプ内蔵スピーカーの音量を最小にして電源を切ります。

2. 本機の [POWER] スイッチを、OFF にします。

「Please wait. Now saving...」と表示され、設定が保存されると電源が切れます。

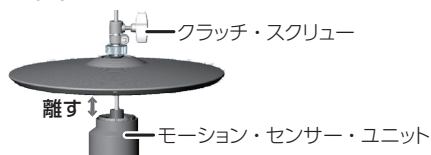
ハイハットの設定をする

ハイハット (VH-10 / VH-11 または VH-13) を使うときは、本機でオフセットの調整をします。ハイハットのオープン、クローズやペダルの動きを、正しく検出するために必要な設定です。

→ ハイハットの感度を微調整する場合は、「パッドの感度を調節する (PARAM)」(P.52) をご覧ください。

VH-10 / VH-11 の設定をする

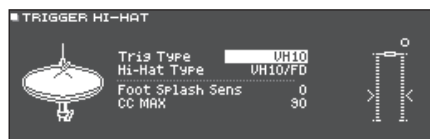
1. ハイハットがモーション・センサー・ユニットから完全に離れた状態で、本機の電源を入れます。



2. VH-10 のクラッチ・スクリューをゆるめ、ハイハットをモーション・センサー・ユニットの上に自然に置いた状態にします。

3. [SYSTEM] ボタンを押します。
4. カーソル・ボタンで [TRIGGER] を選び、[ENTER] ボタンを押します。
5. カーソル・ボタンで [HI-HAT] を選び、[ENTER] ボタンを押します。

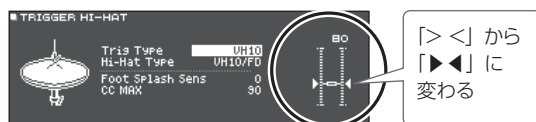
TRIGGER HI-HAT 画面が表示されます。



6. ダイヤルで、Trig Type を [VH10] に設定します。

7. 画面右側に表示されるオフセットメーターを見ながら、VH-10 のオフセット調整ネジを回して調整します。

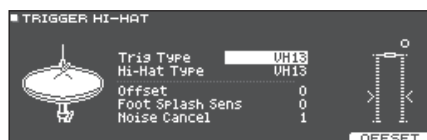
メーターに ▶ ◀ マークが表示されるように調整します。



8. ハイハットがお好みの開き具合になるように、クラッチ・スクリューをと留めます。
9. [DRUM KIT] ボタンを押して、DRUM KIT 画面に戻ります。

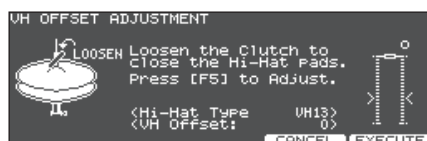
VH-13 の設定をする

1. [SYSTEM] ボタンを押します。
2. カーソル・ボタンで [TRIGGER] を選び、[ENTER] ボタンを押します。
3. カーソル・ボタンで [HI-HAT] を選び、[ENTER] ボタンを押します。
TRIGGER HI-HAT 画面が表示されます。



4. ダイヤルで、Trig Type を [VH13] に設定します。
5. [F5] (OFFSET) ボタンを押します。

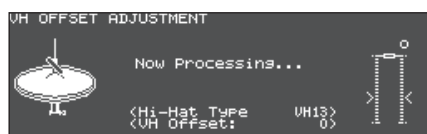
VH OFFSET ADJUSTMENT 画面が表示されます。



6. VH-13 のクラッチ・スクリューをゆるめ、ハイハットを閉じた状態にします。

※ ハイハット本体やペダルには触らないでください。

7. [F5] (EXECUTE) ボタンを押します。



約 3 秒でオフセットが自動的に調整されます。

8. [DRUM KIT] ボタンを押して、DRUM KIT 画面に戻ります。

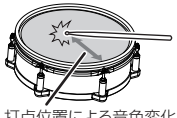


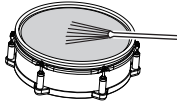
奏法について

本機は、アコースティック・ドラムと同様にさまざまな奏法で演奏することができます。

注意

- スティックは、木製や樹脂製をお使いください。カーボン製や金属製のスティックを使うと、センサーが誤動作することがあります。
- ブラシは、ナイロン製をお使いください。金属製のブラシを使うと、センサーが誤動作したりパッドを傷つけたりすることがあります。



スネア／タム

奏法		説明
ヘッド・ショット	 <p>打点位置による音色変化</p>	ヘッドを叩きます。 特定のスネア音色では、ヘッドの中心から外周部にかけて叩いた位置の違いによる自然な音色変化が得られます。
リム・ショット		ヘッドとリムを同時に叩きます。 ヘッド・ショット時とは異なる音色（リム音色）が鳴ります。
クロス・スティック奏法		ヘッドに手を置きながらリムを叩きます。 スネア音色では、リム・ショット奏法時にはリム音色、クロス・スティック奏法時にはクロス・スティック音色というように、各奏法に対応した音色を鳴らし分けることができます。 リム・ショット奏法に対応するパッドを専用接続ケーブルの「SN」に接続するか、クロス・スティック奏法が可能なデジタル接続対応のパッド（PD-140DS など）を接続して、スネアに割り当てます。 ※ PD-140DS 以外は、ヘッドに触れないようにリムのみを叩きます。 ※ 一部のスネア音色では、音色の鳴らし分けができない場合があります。
ブラシ奏法		ブラシでこする表現（ブラシ・スイープ奏法）ができます。 専用接続ケーブルの「SN」にメッシュ・ヘッドのパッドを接続するか、ブラシ奏法が可能なデジタル接続対応のパッド（PD-140DS など）を接続して、スネアに割り当てます。 さらに、ブラシ演奏に対応したインストをスネアのヘッドに割り当て、Brush Switch を「ON」にします。 → 設定方法は、「ブラシ演奏をする（BRUSH SW）」（P.42）をご覧ください。

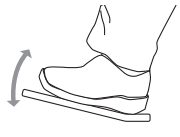
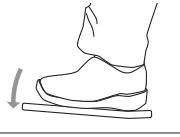
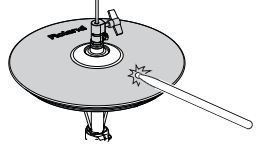
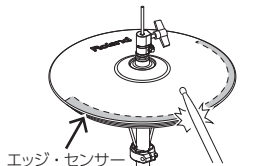
リム・ショットのニュアンスによる音色変化

特定のスネア音色やタム音色では、リム・ショットの微妙な叩きかたの違いによって音色のニュアンスが変化します。

※ 打点位置検出に対応したパッドを接続する必要があります。

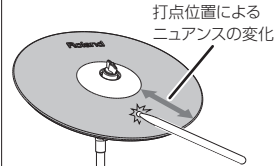
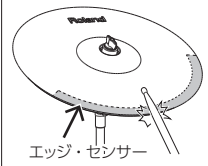
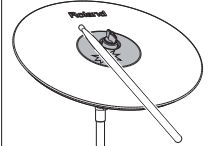
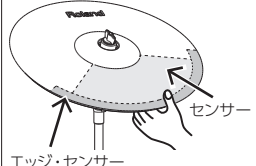
奏法		説明
通常のリム・ショット (オープン・リム・ショット)		ヘッド中心とリムを同時に叩きます。
浅いリム・ショット (シャロウ・リム・ショット)		ヘッドのリムに近い部分とリムを同時に叩きます。

ハイハット

奏法		説明
オープン/クローズ		ハイハット・スタンドのペダルの踏み込み具合により、オープンからクローズまでハイハットの音色が滑らかに変化します。 ペダルを踏み込んで鳴らすフット・クローズや、ペダルを踏み込んで瞬時にオープンして鳴らすフット・スプラッシュも可能です。音色によっては、クローズの状態で叩いて瞬時にオープンしたときの音色変化も表現できます。
プレッシャー (VH-13)		クローズ状態からさらにペダルを踏み込んでハイハットを叩くと、踏み込む強さに応じて変化したクローズの音色を鳴らすことができます。 ※VH-10、VH-11、FD-9、FD-8はプレッシャーに対応していません。
ボウ・ショット		トップ・ハイハットの打面を叩く奏法です。接続したトリガー・インプットのヘッド側の音色が鳴ります。
エッジ・ショット		トップ・ハイハットのエッジ（端）をスティックのショルダーで叩く奏法です。図のエッジ・センサーの位置が叩かれたときに、接続したトリガー・インプットのリム側の音色が鳴ります。 ※エッジを真横から叩いても正しく鳴りません。図のように叩いてください。

※トップ・ハイハットの裏側やボトム・ハイハットは叩かないでください。故障の原因になります。

シンバル

奏法		説明
ボウ・ショット		シンバルの打面を叩く最も一般的な奏法です。接続したトリガー・インプットのヘッドの音色が鳴ります。 特定のライド音色では、ボウ部の打点位置に応じて音色のニュアンスが変化します。
エッジ・ショット		シンバルのエッジ（端）をスティックのショルダーで叩く奏法です。図のエッジ・センサーの位置が叩かれたときに、接続したトリガー・インプットのリムの音色が鳴ります。
ベル・ショット		ベルを叩く奏法です。ベルが叩かれたときにベルの音色が鳴ります。 専用接続ケーブルの「RD」と「RDB」にライド・3ウェイ・トリガーに対応したパッドを接続するか、ベル・ショット奏法が可能なデジタル接続対応のパッド（CY-18DRなど）を接続して、ライドに割り当てます。
チョーク奏法		シンバルを叩いたあと、エッジ・センサーを手でチョークする（つかむ）と、音が止まります。 CY-18DRは、センサーに手を置いてても音が止まります。 チョーク状態で叩くと、音が短く鳴ります。

演奏編

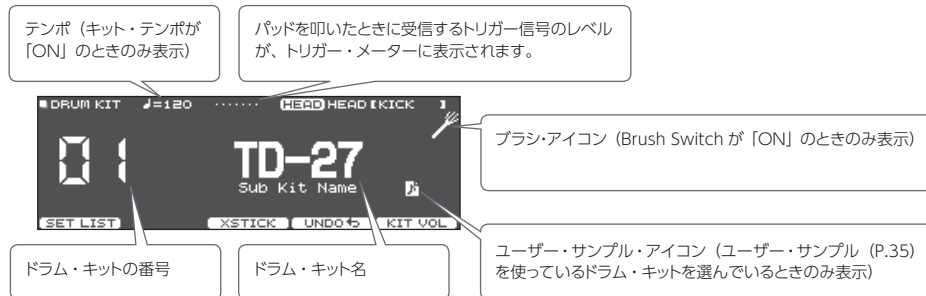
演奏する

ドラム・キットを選ぶ

本機では、さまざまな音楽ジャンルに対応するドラム・キットで演奏を楽しむことができます。

1. [DRUM KIT] ボタンを押します。

DRUM KIT 画面が表示されます。この画面には、設定により以下の内容が表示されます。



2. ダイヤルで、ドラム・キットを選びます。

参照

ドラム・キット・リストについては、『データ・リスト』(PDF) をご覧ください。

クロス・スティック奏法を使う

TRIGGER INPUT 端子に接続したパッドの場合

[F3] (XSTICK) ボタンを押すたびに、スネアのパッドでクロス・スティック音 (P.14) を鳴らすか/鳴らさないかの切り替えができます。



クロス・スティック奏法に対応した、デジタル接続対応のパッド (PD-140DS など) の場合

DIGITAL TRIGGER IN 画面でアサインをスネアに割り当てると (P.11)、常時クロス・スティック奏法が可能になります。

このとき、画面に XSTICK アイコンは表示されません。

鳴っている演奏音をすべて止める (ALL SOUND OFF)

発音中のドラムの演奏音やユーザー・サンプル (P.35) の演奏音を止めます。ユーザー・サンプルで鳴らした長尺の音色やループ・フレーズを止めたいときなどに便利です。

※ エフェクトの残響音、ソング、クリックは止まりません。

1. [ENTER] ボタンを押しながら [EXIT] ボタンを押します。

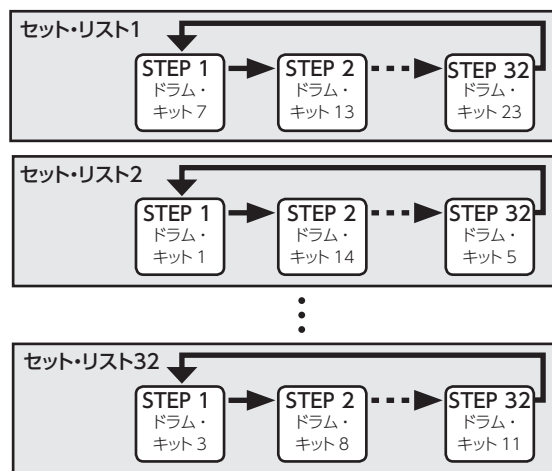
鳴っている演奏音がすべて止まります。

参照

パッドやフットスイッチに機能を割り当てて、発音中のすべての演奏音を停止することもできます (P.60)。

ドラム・キットを順番に呼び出す (SET LIST)

ドラム・キットを呼び出す順番を、1 から 32 番目 (32 ステップ) まで設定できます。これを「セット・リスト」と呼びます。セット・リストは、32 個まで作ることができます。ライブで使う順番に設定しておけば、次に使うドラム・キットをすぐに呼び出すことができ便利です。



セット・リストを作る

1. [DRUM KIT] ボタンを押します。

DRUM KIT 画面が表示されます。

2. [F1] ボタンを押します。

SET LIST 画面が表示され、セット・リストがオンになります。

セット・リスト番号 セット・リスト名 ステップ番号



現在のドラム・キット

ボタン	説明
[F1] (← SET LIST)	セット・リストを選びます。
[F2] (SET LIST →)	
[F5] (SETUP)	セット・リストを編集する画面を表示させます。

3. [F5] (SETUP) ボタンを押します。

セットアップ画面が表示されます。

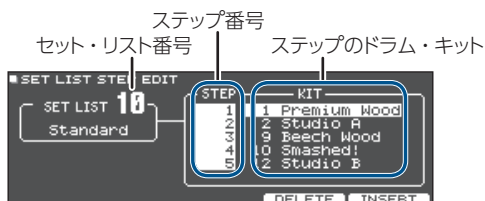


ボタン	説明
[F1] (MOVE LIST ▲)	カーソル位置のセット・リストの順番を変更します。
[F2] (MOVE LIST ▼)	
[F4] (NAME)	カーソル位置のセット・リストの名前を変更します (P.39)。
[F5] (STEP EDIT)	カーソル位置のセット・リストのステップを編集します。

4. ダイヤルで、設定するセット・リストを選びます。

5. [F5] (STEP EDIT) ボタンを押します。

SET LIST STEP EDIT 画面が表示されます。



6. カーソル・ボタンで各ステップのドラム・キットを選び、ダイヤルで設定を変更します。

ボタン	説明
[F4] (DELETE)	カーソル位置のドラム・キットを削除し、以降のステップを 1 つ前にずらします。
[F5] (INSERT)	カーソル位置に同じドラム・キットを挿入し、以降のステップを 1 つ後ろにずらします。

メモ

セット・リストが空の場合は、「END」にカーソルを合わせ、ダイヤルでドラム・キットを設定します。

7. [DRUM KIT] ボタンを押して、SET LIST 画面に戻ります。

セット・リストを使う

1. [DRUM KIT] ボタンを押します。

DRUM KIT 画面が表示されます。

2. [F1] ボタンを押します。

セット・リストがオンになります。



3. [F1] (◀ SET LIST) ボタンまたは [F2] (SET LIST ▶) ボタンを押して、使用するセット・リストを選びます。

4. ダイヤルで、設定したステップの順にドラム・キットを呼び出します。

5. 演奏が終わったら、[DRUM KIT] ボタンまたは [EXIT] ボタンを押します。

セット・リストがオフになります。

メモ

- フットスイッチやパッドに機能を割り当てて、セット・リストやドラム・キットを呼び出すことができます。詳しくは、「フットスイッチやパッドに機能を割り当てる (CONTROL)」(P.60) をご覧ください。
- 各ドラム・キットの音量にばらつきがある場合は、ドラム・キット全体の音量を調節してください (P.31)。
- SET LIST 画面から DRUM KIT 画面に戻るときは、[DRUM KIT] ボタンまたは [EXIT] ボタンを押します。

曲に合わせて演奏する

スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器（以下「スマートフォン」と呼びます）に入っている曲や本機で再生できるソングに合わせて、ドラム演奏を楽しむことができます。

スマートフォンの曲に合わせて演奏する

MIX IN 端子にケーブルを接続する場合

1. スマートフォンとステレオ・ミニプラグ・ケーブル（市販）をつなぎ、本機の MIX IN 端子に接続します（P.10）。
2. スマートフォンの曲を再生します。
3. [BACKING] つまみを回して、曲の音量を調節します。

Bluetooth で無線接続する場合

スマートフォンと本機を Bluetooth で無線接続するには、スマートフォンに本機を登録する（お互いを認証する）ための「ペアリング」が必要です。

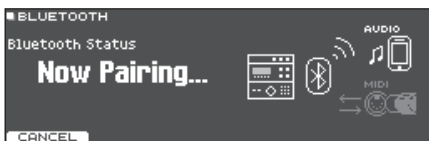


ここでは、例として iPhone を使った設定方法を紹介します。

※ 本機とのペアリングが済んだスマートフォンは、再度ペアリングする必要はありません。「ペアリング済みのスマートフォンを接続する」（P.20）の手順をご覧ください。

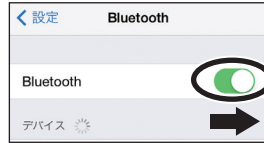
スマートフォンを登録する（ペアリング）

1. 接続したいスマートフォンを、本機周辺に置きます。
2. [SYSTEM] ボタンを押します。
3. カーソル・ボタンを [BLUETOOTH] に合わせ、[ENTER] ボタンを押します。
4. [F1] (PAIRING) ボタンを押します。



ペアリングをやめる場合は、[F1] (CANCEL) ボタンまたは [EXIT] ボタンを押します。

5. スマートフォンの設定で、Bluetooth 機能をオンにします。



6. スマートフォンの Bluetooth 「デバイス」欄に表示される「TD-27 AUDIO」をタップします。

本機とスマートフォンがペアリングされます。ペアリングが完了すると、以下のように表示されます。

スマートフォン	「自分のデバイス」欄に「TD-27 AUDIO」が追加され、「接続済み」と表示される
TD-27	「Connected (AUDIO)」と表示される

7. [DRUM KIT] ボタンを押して、DRUM KIT 画面に戻ります。

スマートフォンの曲を再生する

スマートフォンで曲を再生すると、本機に接続したヘッドホンやアンプ内蔵スピーカーから音が鳴ります。曲の音量は、本機の [BACKING] つまみ、またはスマートフォン側で調節してください。

メモ

スマートフォンで再生した曲は、本機の演奏音と一緒に録音することができます（P.27）。

ペアリング済みのスマートフォンを接続する

1. スマートフォンの設定で、Bluetooth 機能をオンにします。

スマートフォンと本機が無線でつながります。

※ 上記の操作で接続ができなかった場合は、スマートフォンの「デバイス」欄に表示されている「TD-27 AUDIO」をタップしてください。

ソングに合わせて演奏する

本機の内蔵曲や SD カードに保存されたオーディオ・ファイル、SD カードに録音した演奏データなど、本機で再生できる曲の総称を「ソング」と呼びます。

ソングの種類	説明
内蔵曲 (INTERNAL)	本機に内蔵されているバックアップ用の曲（オーディオ・データ）とドラム・キット音色をプレビューするためのデモ演奏（Preview）
SD カードに保存された曲 (SD CARD)	バックアップ用に SD カードに保存したオーディオ・ファイル（WAV / MP3）
SD カードに録音した曲 (REC DATA)	本機での演奏を SD カードに保存（エクスポート）したデータ（オーディオ・データ）

1. [SONG] ボタンを押します。

SONG 画面が表示されます。



2. ダイヤルで、ソングを選びます。

[F1] ボタンを押すたびに、内蔵曲（INTERNAL） / SDカードのオーディオ・ファイル（SD CARD） / SDカードに録音（エクスポート）した曲（REC DATA）を切り替えることができます。

3. [▶/■] ボタンを押します。

選んだソングが再生されます。

再生中の操作

[▶/■] ボタン	ソングの再生 / 停止
[>] [<] ボタン	ソングの早送り [>] / 早戻し [<]
[A] ボタン	曲の先頭に戻る
[V] ボタンでカーソルを [SPEED] に合わせ、ダイヤル	ソングの再生スピードを早くする（右回り） / 遅くする（左回り）
[F4] (A-B) ボタン	通常再生 / A-Bリピートを順番に切り替えます。

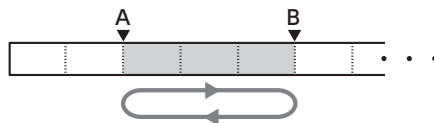
参照

内蔵曲リストについては、『データ・リスト』（PDF）をご覧ください。

指定した区間を繰り返し再生させる (A-Bリピート)

曲の一部区間を指定してリピートすることができます。曲の同じところを繰り返し練習する場合に便利です。

※ 内蔵曲のデモ演奏は、A-Bリピートを設定できません。



1. ソングを選んで再生します。

2. SONG画面で、リピートを開始したい位置で [F4] (A-B) ボタンを押します。

[A] の文字が表示されます。



メモ

[<] / [>] ボタンで、5秒戻し / 5秒送りができます。長押しすると、早戻し / 早送りができます。

3. リピートを終了したい位置で、[F4] (A-B) ボタンを押します。

[B] の文字が表示され、ソングの A と B の間が繰り返し再生されます。



[F4] (A-B RPT) ボタンを押すと、通常再生に戻ります。

曲に合わせて演奏する

ソングの情報を見る／設定を変更する

ソングの種類や名前、演奏時間を確認したり、ソングの鳴らしかたや音量を変更したりすることができます。

1. **[SONG]** ボタンを押します。
SONG 画面が表示されます。
2. **ダイヤルで、設定を変更したいソングを選びます。**
3. **[F2] (SETUP)** ボタンを押します。
SONG INFO/FUNC 画面が表示されます。

SONG INFO/FUNC	
INFORMATION	
Type	SD Card
Name	TD-27.wav
Folder	SD_CARD <TOP>
Total Time	01:00
FUNCTION	
Loop Type	LOOP
Song Level	0.0f481
Click Track Level	0.0f481

ソングの情報

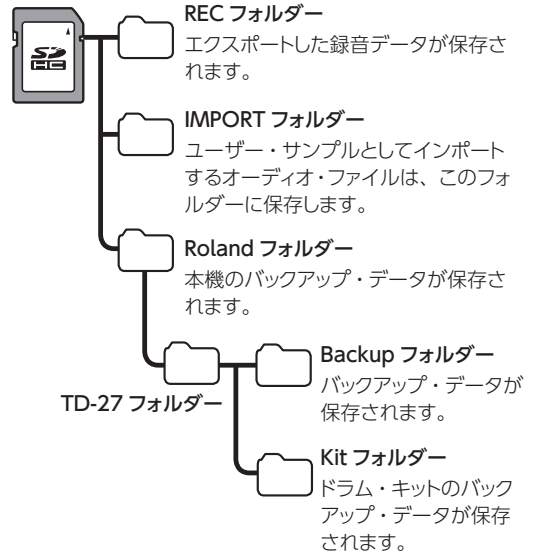
表示	説明
Type	ソングの種類 (INTERNAL / SD CARD / REC DATA)
Name	ソングの名前
Folder	ソングの保存場所 SD カードの場合は、SD カード上の保存場所 (一番上の階層または REC フォルダー) が 表示されます。
Total Time	ソングの演奏時間 ※ドラム演奏だけのソングでは、表示されま せん。

4. **カーソル・ボタンで変更する項目を選び、ダイヤルで設定値を変更します。**

パラメーター	設定値	説明
Loop Type	ONE SHOT	1 度だけ再生して、停止します。
	LOOP	繰り返し再生します。
Song Level		ドラム演奏の音量に対するソングの音量を変更します。
Click Track Level	-INF ~ +6.0 [dB]	曲の音量に対するクリック・トラックの音量を変更します。 ※ソングに対応するクリック・トラックがある場合のみ

5. **[EXIT]** ボタンを押して、ソング画面に戻ります。

SD カードのフォルダー構成



パソコンから SD カードにオーディオ・ファイルを保存するときは

SD カードのトップ・ディレクトリー (一番上の階層) に保存したオーディオ・ファイルを再生することができます。

- ※ 1 つのフォルダーに保存するファイルは 200 個以内にしてください。
- ※ ソングの長さは、1 ファイルが 1 時間以内になるようにしてください。

本機で再生できるオーディオ・ファイル

	WAV ファイル	MP3 ファイル
形式 (拡張子)	WAV (.wav)	MP3 (.mp3)
サンプリング周波数	44.1kHz	44.1kHz
ビット数	16、24 ビット	64kbps ~ 320kbps

- ※ 16 文字以上のファイル名やフォルダー名は、正しく表示されません。また、2 バイト文字を使ったファイルやフォルダーには対応していません。

曲に合わせてクリック（メトロノーム）を再生する

曲の入ったオーディオ・ファイル（WAV）とは別にクリック音の入ったオーディオ・ファイル（WAV）を用意することで、クリック・トラックとして再生することができます。クリック・トラックは曲と同時に再生することができるため、好みの曲に合わせてクリック音を再生したいときに便利です。

※ クリック・トラックを再生するには、必ず WAV ファイル形式のソングとクリック用のオーディオ・ファイルを用意してください。MP3 ファイルには対応していません。

クリック・トラックを準備する

1. 曲の入ったオーディオ・ファイル（WAV）とは別に、クリック・トラックとして一緒に再生するオーディオ・ファイル（WAV ファイル）を用意します。
2. パソコンで、手順 1 で用意したファイルのファイル名を編集します。
クリック・トラックとして再生するオーディオ・ファイルのファイル名を、「曲のファイル名+_Click」にします。
例)
「TD-27.wav」という曲に合わせてクリック・トラックを再生するときは、クリックのオーディオ・ファイルのファイル名を「TD-27_Click.wav」にします。
3. 曲の入ったオーディオ・ファイルとクリックのオーディオ・ファイルを、SDカードのトップ・ディレクトリーに保存します（P.22）。
例) の場合では、「TD-27.wav」と「TD-27_Click.wav」をトップ・ディレクトリーに保存します。

曲とクリックを再生する

1. [SONG] ボタンを押します。
SONG 画面が表示されます。
2. [F1] ボタンを何度か押して、[SD CARD] を選びます。
3. ダイヤルで、クリック・トラックと一緒に再生する曲を選びます。
例) の場合では、「TD-27.wav」を選びます。
4. [F5] ボタンを押して、「CLICK ON」にします。



5. [▶/■] ボタンを押します。

曲の再生と同時に、クリック・トラックも再生されます。

メモ

- 曲に対するクリック・トラックの音量を調節するときは、Click Track Level または Song Level で調節できます。
→ 「ソングの情報を見る／設定を変更する」(P.22)
例) の場合では、Song Level で「TD-27.wav」、Click Track Level で「TD-27_Click.wav」の音量を調節できます。
- クリック・トラックをミュートするときは、[F5] ボタンを押して「CLICK OFF」にします。
- ヘッドホンだけにクリック・トラックを出力することができます。
→ 「音の出力先を設定する (OUTPUT)」(P.55)

練習する

クリック (メトロノーム) を鳴らす

クリックを鳴らして、一定のテンポで叩く練習ができます。

クリックをオン/オフする

1. [CLICK] ボタンを押します。

CLICK 画面が表示されます。



2. [F1] ボタンを押します。

クリックが鳴ります。

[BACKING] つまみでクリックの音量を調節できます。

3. もう一度、[F1] ボタンを押します。

クリックが止まります。

メモ

- [ENTER] ボタンを押しながら [CLICK] ボタンを押して、クリックをオン/オフすることもできます。
- ヘッドホンだけにクリックを出力することもできます。
→ 「音の出力先を設定する (OUTPUT)」 (P.55)

テンポを変更する

1. CLICK 画面 (TEMPO タブ) で [Tempo] にカーソルを合わせ、ダイヤルを回して設定します。



拍子を変更する

1. CLICK 画面 (TEMPO タブ) で、カーソル・ボタンを使って Beat を選びます。
2. ダイヤルで、Beat を設定します。
3. [DRUM KIT] ボタンを押して、DRUM KIT 画面に戻ります。

参照

クリックに関するその他の設定については、『データ・リスト』 (PDF) をご覧ください。

コーチ・モードで練習する

本機には、練習効果を最大限に引き出す「コーチ・モード」が搭載されています。

3つのメニュー「TIME CHECK」、「QUIET COUNT」、「WARM UPS」があり、スピードのコントロール能力や、精度、持久力を鍛えることができます。また、演奏レベルに合わせた設定に変更することもできます。

練習メニューを選ぶ

1. [COACH] ボタンを押します。

COACH MENU 画面が表示されます。



2. カーソル・ボタンで練習メニューを選び、[ENTER] ボタンを押します。

ビートに合わせて正確に叩く (TIME CHECK)

クリックに合わせて、正確にタイミングよく叩く練習です。

1. TIME CHECK 画面で、[F5] (START) ボタンを押して開始します。

メモ

練習を途中で終了するときは、[F4] (STOP) ボタンを押します。

2. クリックに合わせてパッドを叩きます。



正確なタイミングで叩いた割合が「%」で表示されます。

パッドを叩いたタイミングがクリックに合っているかどうかを、画面に表示します。

BEHIND: 遅い

AHEAD: 早い

打撃タイミングが評価されます。



再び練習するときは、[F5] (RETRY) ボタンを押します。

3. [EXIT] ボタンを押して、終了します。

TIME CHECK の設定

TIME CHECK 画面で [F2] (SETUP) ボタンを押すと、評価するパッドや、採点する小節数などを変更することができます。



パラメーター	設定値	説明
Score		採点の結果を、画面に表示させるかどうかを設定します。
	OFF	採点しません。タイミングのチェックだけをします。
	ON (4、8、16、32 meas)	採点の結果を画面に表示します。また、採点までの間に練習する小節数を指定します。
Grade		採点基準を設定します。
	EASY / HARD	標準 / より厳しくタイミングをチェックします。
Display 1 / Display 2		画面にタイミング・グラフを表示するパッドを選びます。
Gauge	LEFT BEHIND	タイミング・グラフの左が BEHIND (遅い) で表示されます。
	LEFT AHEAD	タイミング・グラフの左が AHEAD (早い) で表示されます。

※ [F3] (CLICK) ボタンを押すと、クリックの設定 (P.24) をすることができます。

身体でテンポを覚える (QUIET COUNT)

身体でテンポを覚えるための練習です。最初の数小節は設定された音量でクリックが鳴り、次の数小節はクリックは鳴りません。停止するまで、この数小節間隔のサイクルが続きます。

1. QUIET COUNT 画面で、[F5] (START) ボタンを押して開始します。

2. クリックのテンポに合わせて、パッドを叩きます。

- 最初の数小節はクリックが鳴ります。クリックが発音する最後の小節になると、画面に「Ready..」と表示されます。



- クリックが鳴り終わると、画面の表示が「Quiet」に変わります。この間もパッドを叩き続けます。



- Quiet の区間のあと、正確なテンポで叩いた割合が「%」で表示されます。



3. [F4] (STOP) ボタンを押して、停止します。

4. [EXIT] ボタンを押して、終了します。

QUIET COUNT の設定

QUIET COUNT 画面で [F2] (SETUP) ボタンを押すと設定画面が表示されます。



パラメーター	設定値	説明
Measures	2、4、8、16 (小節)	「クリック発音」と「Quiet」の繰り返し区間の長さ (小節) を設定します。
Quiet		Measures で設定した小節のうち、Quiet にする小節の長さを設定します。
	RANDOM	Quiet の区間が毎回ランダムに設定されます。
	1、2、4	設定した長さ (小節) が Quiet の区間に設定されます。 ※ Measures で設定した値の半分より大きい値を設定することはできません。

※ [F3] (CLICK) ボタンを押すと、クリックの設定 (P.24) をすることができます。

ウォーム・アップ (WARM UPS)

このモードでは、ステップ 1～3 まで順番に練習し、各ステップでの演奏を採点して、総合評価をします。

軽めの練習からハードな練習まで、3つのコース (5 / 10 / 15 分) から選べます。また、演奏の上達度に合わせて、テンポの調節もできます。

メモ

WARM UPS をスタートさせたあとで [F5] (PAUSE) ボタンを押して、一時停止または再開させることができます。

また、一時停止中に [F4] (STOP) ボタンを押して、終了することもできます。

1. WARM UPS 画面で、[F5] (START) ボタンを押して、開始します。

ステップ 1 : Change-Up

リズム・タイプが 2 小節ごとに変化していきます。

2 分音符から始めて徐々に音符が細くなっていき、また 2 分音符まで戻るといったリズムの変化を繰り返します。



ステップ 2 : Auto Up/Down

テンポを徐々に上げ下げします。

テンポが 1 ずつ上がっていき、上限値になったらテンポが 1 ずつ下って最初のテンポに戻ります。その後、同じ動作を繰り返します。



※ Auto Up/Down は、Duration が 10 MINS または 15 MINS のときに実行されます。

※ Auto Up/Down では、現在のテンポは変更できません。

※ 現在のテンポ設定値が、テンポ下限値になります。

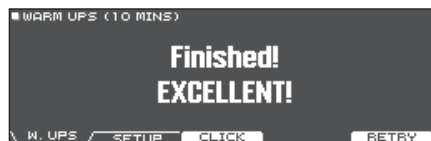
ステップ 3 : Time Check

クリックに合わせて、正確にタイミングよく叩く練習をします。パッドを叩いたタイミングが拍子に合っているか表示します。



総合評価

各ステップでの演奏を採点し、総合評価を表示します。再び練習するときは、[F5] (RETRY) ボタンを押します。



評価 (表示)	EXCELLENT!(最高)、VERY GOOD!(優秀)、GOOD (良)、AVERAGE (標準)、START OVER (やり直し)
---------	---

2. [EXIT] ボタンを押して、終了します。

WARM UPS の設定

WARM UPS 画面で [F2] (SETUP) ボタンを押すと設定画面が表示されます。



パラメーター	設定値	説明
Duration	5 MINS	所要時間 : 5 分 Change-Up : 2 分 Time Check : 3 分
	10 MINS	所要時間 : 10 分 Change-Up : 3 分 Auto Up/Down : 3 分 Time Check : 4 分
	15 MINS	所要時間 : 15 分 Change-Up : 5 分 Auto Up/Down : 5 分 Time Check : 5 分
Grade	EASY	採点基準を設定します。 標準
	HARD	より厳しくタイミングをチェックします。
Max Tempo		ステップ 2 : Auto Up/Down での、テンポの上限値を設定します。

※ [F3] (CLICK) ボタンを押すと、クリックの設定 (P.24) をすることができます。

録音する

演奏を録音する

自分の演奏を簡単に録音して、再生することができます。

メモ

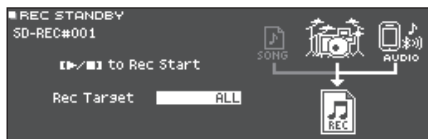
録音には、SDカードが必要です。SDカードがない場合、約3分間の一時録音が可能ですが、本体への保存はできません。

録音する

- ※ 録音した曲をSDカードに保存（エクスポート）する場合は、あらかじめSDカードを挿入しておきます。
- ※ SDカード挿入時は最大約60分、SDカード未挿入時は約3分、録音することができます。

1. [●] ボタンを押します。

REC STANDBY画面が表示され、録音のスタンバイ状態になります。



メモ

クリック（メトロノーム）に合わせて録音したいときは、ここでクリックを鳴らします（P.24）。

2. ダイヤルで、録音対象を選びます。

パラメーター	説明
ALL	すべての音を録音します（クリックとガイドトラックを除く）。
DRUMS ONLY	ドラムの音のみを録音します。

3. [▶/■] ボタンを押して、録音を始めます。

4. もう一度 [▶/■] ボタンを押して、録音を終了します。

再生／保存する

5. [F5] (PREVIEW) ボタンを押します。

録音した演奏が再生されます。
SDカードに曲を保存しないで終了する場合は、[F1] (DELETE) ボタンを押して曲を削除します。

6. [F4] (EXPORT) ボタンを押します。

確認メッセージが表示されます。

7. カーソル・ボタンで「OK」を選び [ENTER] ボタンを押します。

SDカードに曲が保存されます。

ソングと一緒に演奏を録音する

本機内蔵のバックিং（伴奏）用の曲やSDカードに保存した曲と一緒に、演奏を録音することができます。

メモ

MIX IN端子やBluetoothで接続したスマートフォンの曲に合わせて録音するときは、スマートフォンの曲を再生しながら、「演奏を録音する」の手順で録音します。

曲を選んで録音する

1. [SONG] ボタンを押します。

SONG画面が表示されます。

2. ダイヤルで、一緒に録音するソングを選びます。

[F1] ボタンを押すたびに、内蔵曲（INTERNAL）／SDカードのオーディオ・ファイル（SD CARD）／SDカードに録音（エクスポート）した曲（REC DATA）を切り替えることができます。

※ 内蔵曲のデモ演奏（Preview）と一緒に録音することはできません。

3. [●] ボタンを押します。

REC STANDBY画面が表示され、録音のスタンバイ状態になります。

4. ダイヤルで、録音対象「ALL」を選びます。

5. [F1] (with SONG) ボタンを押します。



6. [▶/■] ボタンを押して、録音を始めます。

録音の開始と同時に、曲が再生されます。

7. もう一度 [▶/■] ボタンを押して、録音を終了します。

再生／保存する

8. [F5] (PREVIEW) ボタンを押します。

録音した演奏が再生されます。
SDカードに曲を保存しないで終了する場合は、[F1] (DELETE) ボタンを押して曲を削除します。

9. [F4] (EXPORT) ボタンを押します。

確認メッセージが表示されます。

録音する

10.カーソル・ボタンで「OK」を選び、[ENTER]ボタンを押します。

SD カードに曲が保存されます。

パソコンに接続して録音する

本機とパソコンを接続して、DAW ソフトウェア（市販）へ 28ch のマルチトラックで演奏をオーディオ録音したり、MIDI で録音したりすることができます。

注意

- パソコンの機種によっては、正しく動作しないことがあります。対応 OS については、ローランドのホームページをご覧ください。
- USB ケーブルは付属していません。USB2.0 ケーブルをお使いください。ご購入の際には、本機をお求めになった販売店にお問い合わせください。
- パソコンの USB 端子は、USB2.0 Hi-Speed 対応のものをお使いください。

USB ドライバーをインストールする

USB ドライバーは、パソコン上の DAW ソフトウェアと本機との間でデータをやりとりするためのソフトウェアです。USB AUDIO として音声を送受信するには、USB ドライバーのインストールが必要です。



メモ

USB ドライバーのダウンロードとインストール手順については、ローランドのホームページをご覧ください。

<https://www.roland.com/jp/support/>

参照

USB ドライバーの設定については、「USB ドライバーの設定をする」(P.58) をご覧ください。

キット・エディット編

ドラム・キットをエディットする

本機では、ヘッドの種類やシェルの深さなどドラム自体のカスタマイズから残響の調節まで、幅広い音作りができます。直感的に操作したい場合はサウンド・モディファイつまみで、画面の設定値を見ながら緻密に設定したい場合は [KIT EDIT] ボタンからの操作でエディットできます。

※ 本機では、変更した設定は自動的に保存されるため、設定を保存する操作は必要ありません。また、電源をオフにするときも設定が保存されます。

メモ

エディット中のドラム・キットを一時的に保存しておき、現在の設定と聴き比べながら、エディットすることができます (スナップショット機能)。詳しくは、P.34 をご覧ください。

サウンド・モディファイつまみでエディットする

1. [DRUM KIT] ボタンを押します。

DRUM KIT 画面が表示されます。

2. ダイヤルで、エディットするドラム・キットを選びます。

3. エディットするパッドを叩きます。

パッドのリム側を選ぶときは、リムを叩きます。

メモ

[ENTER] ボタンを押しながら [SYSTEM] ボタンを押すと、設定するパッドが切り替わらないことができます (Trig Lock 機能)。フレーズを演奏しながら設定するときに便利です。

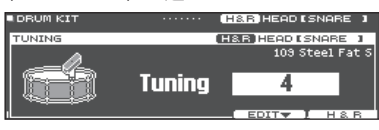

4. [INSTRUMENT] つまみで、インストを選びます。



参照

インスト・リストについては、『データ・リスト』(PDF) をご覧ください。

5. サウンド・モディファイつまみで、インストをエディットします。

[LEVEL] つまみ	画面上で選択されているインストの音量(レベル)を選びます。 
[TUNING] つまみ	画面上で選択されているインストの音の高さ(チューニング)を選びます。 
[MUFLING] つまみ	画面上で選択されているインストの余韻の長さ(マフリング)を選びます。 

メモ

一定時間操作しなかったり叩かなかったりすると、直前の画面に戻ります。

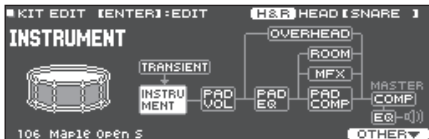
6. [DRUM KIT] ボタンを押して、DRUM KIT 画面に戻ります。

メモ

DRUM KIT 画面以外の画面が表示されているときでも、サウンド・モディファイつまみを回して現在選んでいるドラム・キットのエディットができます (一部画面を除く)。

[KIT EDIT] ボタンでエディットする

1. [DRUM KIT] ボタンを押します。
DRUM KIT 画面が表示されます。
2. ダイヤルで、エディットするドラム・キットを選びます。
3. [KIT EDIT] ボタンを押します。
KIT EDIT 画面が表示されます。



4. エディットするパッドを叩きます。
パッドのリム側を選ぶときは、リムを叩きます。



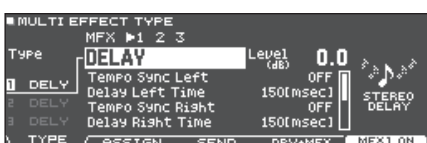
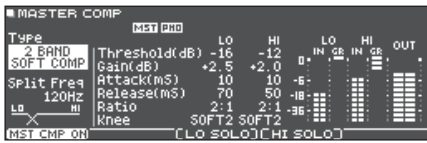
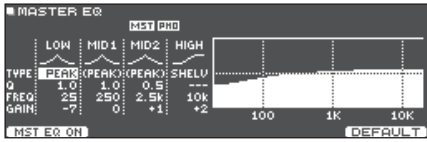
メモ

[ENTER] ボタンを押しながら [SYSTEM] ボタンを押すと、設定するパッドが切り替わらないようにできます (Trig Lock 機能)。フレーズを演奏しながら設定するときに便利です。

5. カーソル・ボタンでエディットするパラメーターを選び、[ENTER] ボタンを押します。

パラメーター	画面	説明
INSTRUMENT		<p>インストの種類を変更します。 また、ヘッドの種類やシェルの深さ、残響など各インストの設定を変更することもできます。 通常のインスト (メイン・インスト) とサブ・インストを重ねて鳴らすことができます。</p> <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> • INSTRUMENT 画面または SUB INSTRUMENT 画面を表示しているときに [ENTER] ボタンを押すと、インスト・リストが表示されます。 • パソコンで作成したオーディオ・ファイルを、SD カードから本機に取り込み、インストとして鳴らしたり、エディットしたりすることができます。 → 「オーディオ・ファイルを取り込む／鳴らす (USER SAMPLE)」 (P.35)
TRANSIENT		<p>インストのアタック部分やリリース部分を強調したり、抑えたりできます (トランジェント)。</p> <p>※ ユーザー・サンプルには、設定できません。</p>
PAD VOL		<p>パッドごとの音量やパン (定位)、ドラム・キット全体の音量などを調節します。</p>
PAD EQ		<p>パッドごとの音質 (パッド・イコライザー) を調節します。3 バンド (LOW / MID / HIGH) のブースト/カットによる音質補正ができます。</p>

ドラム・キットをエディットする

パラメーター	画面	説明
PAD COMP		パッドごとの音量変化 (パッド・コンプレッサー) を調節します。
OVERHEAD		ドラム・キット全体を集音する、オーバーヘッド・マイクの音を調節します。
ROOM		ドラムを演奏する場所の残響や鳴りかたを再現します。部屋の種類や大きさ (ルーム・アンビエンス) や残響音 (リバーブ) などを調節することで、より自然で臨場感のあるドラム・サウンドが得られます。
MXF		30 種類の中から最大 3 つのエフェクトを選んで、ドラム・キットに効果を加えることができます。 メモ MXF の種類を切り替えるときは、図の位置にカーソルを合わせて、ダイヤルを回します。
MASTER COMP *1		ドラム・キット全体の音量変化を調節します。マスター・アウトプットの最終段にかけるステレオ・コンプレッサー/リミッター (マスター・コンプ) の設定をします。
MASTER EQ		ドラム・キット全体の音質を調節します。4 バンド (LOW / MID1 / MID2 / HIGH) のブースト/カットによる音質補正ができます。マスター・コンプを使用したときの音質を補正するためにも使用できます。

*1: マスター・コンプの用途

- 瞬間的な音のピークを圧縮することで、ドラム全体の音圧を上げることができます。その結果、音を前面に出すことや、他の楽器音に埋もれにくい音にすることができます (コンプ)。
- 録音機器への過大入力を抑えつつ、録音レベルを大きくすることができます (コンプ/リミッター)。
- 小型のモニター・アンプを使う場合に、ドラム音のピークを整え、音を歪みにくくします (リミッター)。

参照

設定できるパラメーターの詳細については、『データ・リスト』(PDF) をご覧ください。

6. カーソル・ボタンとダイヤルで、設定を変更します。

7. [DRUM KIT] ボタンを押して、DRUM KIT 画面に戻ります。

メモ

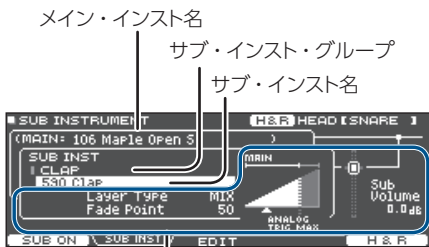
- [F5] (H&R) ボタンを押して「ON」にすると、ヘッドとリムなどを同時に設定できます。
- エディットしたドラム・キットの名前を変更したり、ドラム・キットごとに操作子の点灯色を変えたりすることができます。詳しくは、「その他の設定をする」(P.39) をご覧ください。

インストを重ねて鳴らす (SUB INSTRUMENT)

通常のインスト (メイン・インスト) とサブ・インストを重ねて鳴らすことができます。また、2つのインストを叩く強さに応じて切り替えたり、バランスを変化させたりすることもできます。

サブ・インストを選ぶ

1. **[DRUM KIT]** ボタンを押します。
DRUM KIT 画面が表示されます。
2. **ダイヤルで、エディットするドラム・キットを選びます。**
3. **[KIT EDIT]** ボタンを押します。
KIT EDIT 画面が表示されます。
4. **カーソル・ボタンで「INSTRUMENT」を選び、[ENTER] ボタンを押します。**
INSTRUMENT 画面が表示されます。
5. **エディットするパッドを叩きます。**
パッドのリム側を選ぶときは、リムを叩きます。
6. **[F4] (SUB INST) ボタンを押します。**
SUB INSTRUMENT 画面を表示させます。



サブ・インスト・パラメーター

7. **サブ・インストまたはサブ・インスト・グループにカーソルを合わせ、ダイヤルでサブ・インストを選びます。**

参照

設定できるパラメーターについては、『データ・リスト』(PDF) をご覧ください。

サブ・インストをオン/オフする

1. **SUB INSTRUMENT 画面で、[F1] ボタンを押します。**
サブ・インストのオン/オフが切り替わります。

設定するパッドを選ぶ

各パッドの設定をするときは、設定するパッドを叩いて選びます。パッドのリム側を選ぶときは、リムを叩きます。

叩く場所ごとにインストを選ぶ

[F5] (H&R) ボタンが表示されている画面では、ヘッドとリムなどのインストを、セットで選ぶ (ON) か独立して選ぶ (OFF) かを切り替えることができます。

[F5] (H&R) ボタン	説明
ON	<p>ヘッドとリムなどのインストを、セットで選びます。選んだインストに応じて、推奨のインストがセットで選ばれます。</p> <p>※ セットで選ばれたインスト内で同じパラメーターがある場合は、自動的に同じ値に設定されます。</p> <p>※ インストによっては、ヘッドとリムなどに、すべて同じインストが選ばれることがあります。</p>
OFF	<p>ヘッドやリムなど、叩く場所ごとにインストを選びます。</p>

設定中のパッドが切り替わらないようにする (トリガー・ロック)

音を確認しながらインストを設定したいときなど、パッドを叩いても設定中のパッドが切り替わらないようにすることができます。

1. **[ENTER] ボタンを押しながら、[SYSTEM] ボタンを押します。**
設定するパッドがロックされ、画面右上に鍵マークが表示されます。
※ MIDI 信号でのパッド切り替えもロックされます。
2. **ロックを解除するときは、もう一度 [ENTER] ボタンを押しながら [SYSTEM] ボタンを押します。**
画面右上の鍵マークが消えます。

メモ

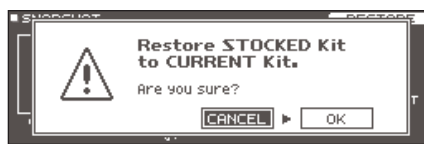
- 設定するパッドがロックされている状態でも、カーソル・ボタンを押して、設定するパッドを切り替えることができます。
- [ENTER] ボタン+ [>] [<] ボタンでパッドを選び、[ENTER] ボタン+ [A] [V] ボタンでヘッドとリムを切り替えることができます。

エディット前のドラム・キットと聴き比べる／戻す (SNAPSHOT)

エディット中のドラム・キットを一時的に保存しておき、現在の設定と聴き比べたり設定を戻したりすることができます (スナップショット機能)。



- [DRUM KIT] ボタンを押します。**
DRUM KIT 画面が表示されます。
- ダイヤルで、エディットするドラム・キットを選びます。**
ドラム・キットを選んだ時点で、選ばれたドラム・キットの情報がUNDOに保存されます。
- エディット中のドラム・キットの設定を一時的に保存したいタイミングで、DRUM KIT 画面で [F4] (UNDO) ボタンを押します。**
SNAPSHOT 画面が表示され、現在のドラム・キット (CURRENT) が選ばれます。
- [F5] (SAVE) ボタンを押します。**
現在のドラム・キットの設定が、STOCK に保存されます。
- [EXIT] ボタンを押して SNAPSHOT 画面を抜けて、ドラム・キットをエディットします。**
※ドラム・キットを変えると、STOCK に保存されている設定は消去されます。
- DRUM KIT 画面で、[F4] (UNDO) ボタンを押します。**
- カーソル・ボタンで保存されたドラム・キットを切り替えながら演奏し、聴き比べます。**
- [F5] (RESTORE) ボタンを押します。**
確認メッセージが表示されます。
- カーソル・ボタンで、戻したい状態を選びます。**
現在のドラム・キットの設定のままにするときは、[DRUM KIT] ボタンを押して、DRUM KIT 画面に戻ります。
- カーソル・ボタンで [OK] を選び、[ENTER] ボタンを押します。**
現在のドラム・キットの設定が、手順 8 で選んだドラム・キットの設定に戻ります。



中止するときは「CANCEL」を選び、[ENTER] ボタンを押します。



画面	説明
CURRENT	現在のドラム・キットの設定
STOCK	STOCK に保存したドラム・キットの設定
UNDO	ドラム・キット選択直後の設定

オーディオ・ファイルを取り込む／鳴らす (USER SAMPLE)

パソコンで作成したオーディオ・ファイルを、SD カードから本機に取り込み、インストとして鳴らすことができます(ユーザー・サンプル機能)。

ユーザー・サンプルは他のインストと同じように、音色を調節したりエフェクトをかけたりすることができます。

本機に取り込めるオーディオ・ファイル

	WAV ファイル
形式 (拡張子)	WAV (.wav)
サンプリング周波数	44.1kHz
ビット数	16、24ビット
時間	最大 180 秒

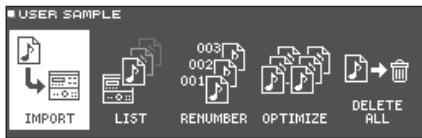
※ 16 文字以上のファイル名やフォルダー名は、正しく表示されません。
また、2 バイト文字を使ったファイルやフォルダーには対応していません。

オーディオ・ファイルを取り込む (IMPORT)

オーディオ・ファイルをユーザー・サンプルとして、本機に取り込みます。

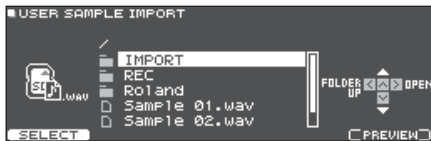
1. SD カードを本機に挿入します (P.11)。
2. [USER SAMPLE] ボタンを押します。

USER SAMPLE 画面が表示されます。



3. カーソルを「IMPORT」に合わせ、[ENTER] ボタンを押します。

USER SAMPLE IMPORT 画面が表示されます。



カーソル・ボタン	説明
[^] ボタン	カーソルの移動 (上)
[v] ボタン	カーソルの移動 (下)
[<] ボタン	フォルダーを抜ける
[>] ボタン	フォルダーに入る

メモ

[F5] (PREVIEW) ボタンを押すと、取り込む音を聞くことができます。

4. カーソル・ボタンでオーディオ・ファイルを選び、[F1] (SELECT) ボタンを押します。

USER SAMPLE IMPORT (DESTINATION) 画面が表示されます。



5. カーソル・ボタンでインポート先の番号を選び、[F5] (IMPORT) ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



※ すでにデータがある番号を選ぶと、「User Sample Exists!」とメッセージが表示されます。データの無い番号を選んでください。

6. カーソル・ボタンで「OK」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

オーディオ・ファイルが取り込まれます。

ユーザー・サンプルをインストに割り当てる／鳴らす

1. [DRUM KIT] ボタンを押します。
DRUM KIT 画面が表示されます。
2. ダイヤルで、エディットするドラム・キットを選びます。
3. [KIT EDIT] ボタンを押します。
KIT EDIT 画面が表示されます。
4. エディットするパッドを叩きます。
パッドのリム側を選ぶときは、リムを叩きます。
5. カーソル・ボタンで「INSTRUMENT」を選び、[ENTER] ボタンを押します。



6. インスト・グループにカーソルを合わせ、ダイヤルで「USER SAMPLE」を選びます。



7. インスト番号にカーソルを合わせて、ダイヤルで割り当てたいユーザー・サンプルを選びます。
8. [DRUM KIT] ボタンを押して、DRUM KIT 画面に戻ります。

ユーザー・サンプルを割り当てたパッドを叩くと、ユーザー・サンプルが鳴ります。

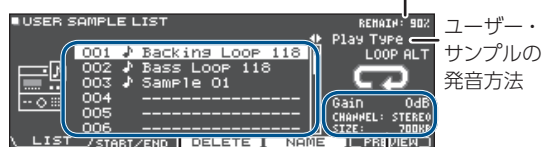
メモ

- ユーザー・サンプルは、サウンド・モディファイつままで選んだり、エディットしたりすることもできます。
- ユーザー・サンプルは、他のインストと同じように、音色を調節したり、エフェクトをかけたりすることもできます (P.30)。

ユーザー・サンプルを一覧表示する (LIST)

取り込んだすべてのユーザー・サンプルを一覧表示します。音の確認やループの設定、名前の変更などができます。

1. [USER SAMPLE] ボタンを押します。
USER SAMPLE 画面が表示されます。
2. カーソル・ボタンで「LIST」を選び、[ENTER] ボタンを押します
USER SAMPLE LIST 画面が表示されます。
ユーザー・サンプル領域の残量



ユーザー・サンプル番号、名前 ユーザー・サンプルの情報

3. カーソル・ボタンで、ユーザー・サンプルを選びます。

メモ

[F5] (PREVIEW) ボタンを押すと、選んでいるユーザー・サンプルを再生することができます。再生中にもう一度 [F5] (PREVIEW) ボタンを押すと、停止します。

ユーザー・サンプルの発音方法を設定する

パッドを叩いたときに、ユーザー・サンプルを1回だけ鳴らすか、繰り返し鳴らすかなど、発音方法を設定することができます。

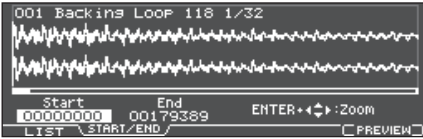
1. ユーザー・サンプル一覧から、設定するユーザー・サンプルを選びます。
2. カーソル・ボタン [>] で「Play Type」を選び、ダイヤルで設定値を変更します。

パラメーター	設定値	説明
Play Type	ONE SHOT MONO	パッドを叩いたとき、鳴っている音を消してから発音します。音を重ねずに発音します。
	ONE SHOT POLY	同じパッドを連打したとき、音が重なって発音します。
	LOOP ALT	ユーザー・サンプルを繰り返し鳴らします (ループ)。パッドを叩くたびに、発音と停止を交互に繰り返します。

ユーザー・サンプルの発音範囲を設定する

ユーザー・サンプルの発音範囲を設定することができます。

1. ユーザー・サンプル一覧から、設定するユーザー・サンプルを選びます。
2. [F2] (START/END) ボタンを押します。



3. カーソル・ボタンとダイヤルで、設定値を変更します。

パラメーター	説明
Zoom	波形表示をズーム・イン/アウトします。 [ENTER] ボタンを押しながらカーソル・ボタン [<] [>] を押すと、横軸方向でズーム・イン/アウトします。 [ENTER] ボタンを押しながら、カーソル・ボタン [▲] [▼] を押すと、縦軸方向でズーム・イン/アウトします。
Start	スタート・ポイント（ユーザー・サンプルの発音を始める位置）を調節します。
End	エンド・ポイント（ユーザー・サンプルの発音を終える位置）を調節します。

ユーザー・サンプルを削除する

ユーザー・サンプルを削除します。

1. ユーザー・サンプル一覧から、削除するユーザー・サンプルを選びます。
2. [F3] (DELETE) ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



中止するときは、「CANCEL」を選んで [ENTER] ボタンを押します。

3. カーソル・ボタンで「OK」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

ユーザー・サンプルが削除されます。

ユーザー・サンプルの名前を変更する

ユーザー・サンプルの名前を変更します。

1. ユーザー・サンプル一覧から、名前を変更するユーザー・サンプルを選びます。
2. [F4] (NAME) ボタンを押します。
3. 名前を変更します (P.39)。
4. [F5] (EXIT) ボタンを押して、SAMPLE NAME 画面から抜けます。

ユーザー・サンプルを整理する

ユーザー・サンプルの番号を整理したり、ユーザー・サンプル領域を最適化したりすることができます。

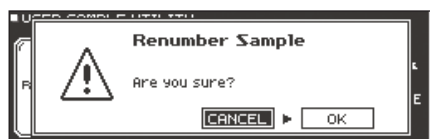
1. [USER SAMPLE] ボタンを押します。

USER SAMPLE 画面が表示されます。

2. カーソル・ボタンで RENUMBER、OPTIMIZE、または DELETE ALL を選び、[ENTER] ボタンを押します。

選んだ項目の画面が表示され、確認画面が表示されます。

例) RENUMBER の場合



中止するときは、「CANCEL」を選んで [ENTER] ボタンを押します。

メニュー	説明
RENUMBER	<h4>ユーザー・サンプルの番号を前に詰める</h4> <p>ユーザー・サンプルの取り込みと削除を繰り返すと、番号がとびとびになります。 この機能を使うと、ユーザー・サンプルを前詰めに整理できます。ドラム・キットに割り当てたユーザー・サンプルも、正しく鳴るように更新されます。</p> <p>※ RENUMBER を実行すると、これまでに保存したバックアップ・データやキット・バックアップ・データ（ユーザー・サンプルを含まないもの）を読み込んだとき、ドラム・キットに割り当てられたユーザー・サンプルが正しく再現されなくなります。</p>
OPTIMIZE	<h4>ユーザー・サンプル領域を最適化する</h4> <p>ユーザー・サンプルの取り込みと削除を繰り返すと、ユーザー・サンプル領域が断片化し、取り込めるユーザー・サンプルが少なくなることがあります。 この機能を使うと、領域を最適化して、ユーザー・サンプルを取り込めるようになります。</p> <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none">• 実行前に必ずバックアップをしてください (P.47)。• この処理は、1 時間以上かかることがあります (ユーザー・サンプルの数やサイズにより変動します)。• 処理中は、絶対に電源を切らないでください。ユーザー・サンプルが失われる恐れがあります。• 最適化しても、効果がない場合があります。
DELETE ALL	<h4>すべてのユーザー・サンプルを削除する</h4> <p>ユーザー・メモリー内のすべてのユーザー・サンプルを削除します。</p> <p>注意</p> <p>ドラム・キットで使われているユーザー・サンプルもすべて削除されます。ユーザー・サンプルを割り当てているパッドは、音が鳴らなくなります。</p>

3. カーソル・ボタンで [OK] を選び、[ENTER] ボタンを押します。

選んだ機能が実行されます。

その他の設定をする

カスタマイズしたドラム・キットの名前を変更したり、ドラム・キットごとに操作子の点灯色を変更したりするなど、設定します。

1. 設定をしたいドラム・キット画面で、[KIT EDIT] ボタンを押します。

KIT EDIT 画面が表示されます。

2. [F5] (OTHER) ボタンを押します。

KIT EDIT OTHER 画面が表示されます。



3. カーソル・ボタンで設定するメニューを選び、[ENTER] ボタンを押します。

メニュー	説明	ページ
KIT NAME	ドラム・キットの名前を変更します。	P.39
KIT TEMPO	ドラム・キットを選んだとき、テンポが自動的にセットされるように設定します。	P.40
KIT MIDI	本機に MIDI 機器を接続した場合の、パッドを叩いたときなどに送受信する MIDI 情報を設定します。	P.40
MUTE GROUP	ミュート・グループを設定すると、パッドを叩いたときに同じミュート・グループの別のパッドをミュート（消音）することができます。	P.41
POSITION	パッドを叩く位置によって、音の鳴りかたが変わるように設定します。	P.41
PEDAL BEND	ハイハット・ペダルの踏み込み量によるピッチの変化量を設定します。	P.42
BRUSH SW	スティックとブラシのどちらで演奏するかを設定します。	P.42
KIT COLOR	ドラム・キットごとに、[DRUM KIT] ボタンやサウンド・モディファイつまみの点灯色を変える設定をします。	P.42
COPY	ドラム・キットの設定やパッドごとの設定を、ユーザー・メモリーや SD カードからコピーします。	P.43

4. 選んだメニューに応じて、カーソル・ボタンとダイヤルで設定を変更します。

5. [DRUM KIT] ボタンを押して、DRUM KIT 画面に戻ります。

ドラム・キットの名前を変更する (KIT NAME)

現在選んでいるドラム・キットの名前を変更します。

1. [KIT EDIT] ボタンを押します。

KIT EDIT 画面が表示されます。

2. [F5] (OTHER) ボタンを押します。

KIT EDIT OTHER 画面が表示されます。

3. カーソルを [KIT NAME] に合わせ、[ENTER] ボタンを押します。

DRUM KIT NAME 画面が表示されます。



4. 名前を変更します。

キット・ネーム（上段）は 12 文字、サブ・ネーム（下段）は 16 文字まで入力できます。

操作子	説明
カーソル・ボタン	変更する文字にカーソルを合わせます。
ダイヤル	文字を変更します。
[F3] (INSERT) ボタン	カーソル位置に空白を挿入します。
[F4] (DELETE) ボタン	カーソル位置の文字を削除します。

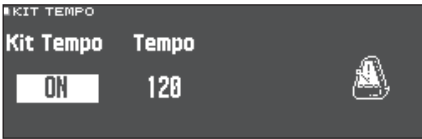
5. [F5] (EXIT) ボタンを押して、DRUM KIT NAME 画面から抜けます。

ドラム・キットをエディットする

ドラム・キットごとにテンポを設定する (KIT TEMPO)

ドラム・キットを選んだとき、ここで設定したテンポが自動的にセットされます。

1. [KIT EDIT] ボタンを押します。
KIT EDIT 画面が表示されます。
2. [F5] (OTHER) ボタンを押します。
KIT EDIT OTHER 画面が表示されます。
3. カーソル・ボタンで「KIT TEMPO」を選び、[ENTER] ボタンを押します。
KIT TEMPO 画面が表示されます。



4. カーソル・ボタンでパラメーターを選び、ダイヤルで設定値を変更します。

パラメーター	設定値	説明
Kit Tempo	OFF	本機全体で共通のテンポ (P.24) を使用します。ドラム・キットを変更しても、テンポは変わりません。
	ON	ドラム・キットごとにテンポを設定します。Kit Tempo が「ON」のドラム・キットを選ばると、そのドラム・キットのテンポが、現在のテンポに反映されます。
Tempo	20 ~ 260	ドラム・キットごとの設定テンポ

Kit Tempo が「ON」に設定されたドラム・キットを選ばると、DRUM KIT 画面にテンポが表示されます。



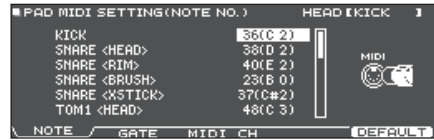
ドラム・キットごとのテンポと本機全体のテンポで異なった設定をしていると、テンポの前に「*」が表示されます。

5. [EXIT] ボタンを押して、KIT TEMPO 画面から抜けます。

パッドごとに MIDI 送受信の設定をする (KIT MIDI)

本機に MIDI 機器を接続した場合の、パッドを叩いたときなどに送受信する MIDI 情報を設定します。

1. [KIT EDIT] ボタンを押します。
KIT EDIT 画面が表示されます。
2. [F5] (OTHER) ボタンを押します。
KIT EDIT OTHER 画面が表示されます。
3. カーソル・ボタンで「KIT MIDI」を選び、[ENTER] ボタンを押します。
PAD MIDI SETTING (NOTE NO.) 画面が表示されます。



4. [F1] (NOTE) ~ [F3] (MIDI CH) ボタンを押して、設定する項目を選びます。

ボタン	説明
[F1] (NOTE)	各パッドが送受信する MIDI ノート・ナンバー
[F2] (GATE)	各パッドが送信するノートの鳴る長さ
[F3] (MIDI CH)	各パッドのノート・メッセージを送受信する MIDI チャンネル

参照

設定できるパラメーターについては、『データ・リスト』(PDF) をご覧ください。

5. パッドを叩くかカーソル・ボタンで、設定するパッドを選びます。
6. ダイヤルで、設定値を変更します。
7. [EXIT] ボタンを押して、PAD MIDI SETTING 画面から抜けます。

メモ

初期値に戻すときは、[F5] (DEFAULT) ボタンを押します。

※ 外部 MIDI 機器からパッドを鳴らす場合、鳴らすパッドの MIDI ノート・ナンバーと MIDI チャンネルを合わせる必要があります。

パッドを叩いたときに特定のパッドの音をミュートする (MUTE GROUP)

ミュート・グループを設定すると、パッドを叩いたときに、同じミュート・グループに設定した別のパッドをミュート (消音) することができます。

たとえば、各パッドのインストにユーザー・サンプルを割り当て、ミュート・グループの設定をすると、パッドを叩いてユーザー・サンプルを切り替えながら鳴らすといった使いかたができます。

1. [KIT EDIT] ボタンを押します。

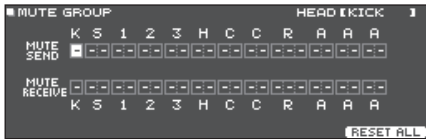
KIT EDIT 画面が表示されます。

2. [F5] (OTHER) ボタンを押します。

KIT EDIT OTHER 画面が表示されます。

3. カーソル・ボタンで「MUTE GROUP」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

MUTE GROUP 画面が表示されます。



4. パッドを叩くかカーソル・ボタンで、設定するパッドを選びます。

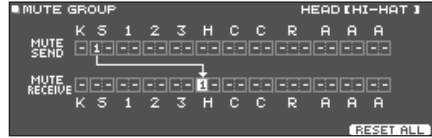
5. カーソル・ボタンとダイヤルで、ミュート・グループの設定をします。

パラメーター	設定値	説明
MUTE SEND		ミュート・グループ番号を設定します。
MUTE RECEIVE	- (OFF)、 1 ~ 8	MUTE SEND で設定した番号のパッドを叩くと、MUTE RECEIVE で同じ番号に設定したパッドの音がミュートされます。 ※ 同じパッドの同じ場所 (ヘッド部やリム部など) で、MUTE SEND と MUTE RECEIVE を同じ番号に設定しても、ミュートされません。

メモ

カーソル・ボタン [Λ] [V] で、MUTE SEND と MUTE RECEIVE を切り替えることができます。

※ ミュート・グループを設定すると、選択中のパッドを叩いたときにミュートするパッドや、どのパッドを叩いたときに選択中のパッドがミュートされるかが、矢印で示されます (右上図)。



メモ

すべてのミュート・グループを解除するときは、[F5] (RESET ALL) ボタンを押します。

6. [EXIT] ボタンを押して、MUTE GROUP 画面から抜けます。

パッドを叩く位置で音の鳴りかたを変える (POSITION)

パッドを叩く位置によって、音の鳴りかたが変わるように設定することができます。

1. [KIT EDIT] ボタンを押します。

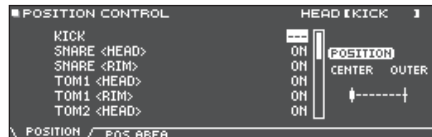
KIT EDIT 画面が表示されます。

2. [F5] (OTHER) ボタンを押します。

KIT EDIT OTHER 画面が表示されます。

3. カーソル・ボタンで「POSITION」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

POSITION CONTROL 画面の例



ボタン	説明
[F1] POSITION *1	打点位置やリム・ショットのニュアンスによる音色変化をオン/オフすることができます。
[F2] POS AREA *1	ヘッドとリムなどの打点位置のエリアを設定します。

*1: 以下のトリガー・インプットに対応しています。

- SNARE
- TOM1 ~ 3
- RIDE のボウ (ヘッド)
- AUX1 ~ 3

4. パッドを叩くかカーソル・ボタンで、設定するパッドを選びます。

5. ダイヤルで、設定値を変更します。

参照

設定できるパラメーターについては、『データ・リスト』(PDF) をご覧ください。

ドラム・キットをエディットする

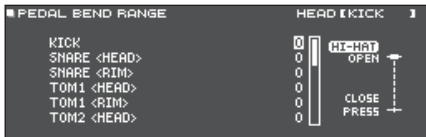
※ 接続しているパッドや、選んでいるインストによっては、効果が得られないことがあります。

6. [EXIT] ボタンを押して、POSITION CONTROL 画面または POSITION AREA 画面から抜けます。

音色の変化をコントロールする (PEDAL BEND)

ハイハット・ペダルの踏み込み量によるピッチの変化量を設定します。

1. [KIT EDIT] ボタンを押します。
KIT EDIT 画面が表示されます
2. [F5] (OTHER) ボタンを押します。
KIT EDIT OTHER 画面が表示されます。
3. カーソル・ボタンで「PEDAL BEND」を選び、[ENTER] ボタンを押します。
PEDAL BEND RANGE 画面が表示されます。



4. パッドを叩くかカーソル・ボタンで、設定するパッドを選びます。
5. ダイアルで、設定値を変更します。

参照

設定できるパラメーターについては、『データ・リスト』(PDF) をご覧ください。

6. [EXIT] ボタンを押して、PEDAL BEND RANGE 画面から抜けます。

ブラシ演奏をする (BRUSH SW)

スティックとブラシのどちらで演奏するかを設定します。

1. [KIT EDIT] ボタンを押します。
KIT EDIT 画面が表示されます。
2. [F5] (OTHER) ボタンを押します。
KIT EDIT OTHER 画面が表示されます。
3. カーソル・ボタンで「BRUSH SW」を選び、[ENTER] ボタンを押します。
BRUSH 画面が表示されます。

4. ダイアルで、設定値を変更します。

パラメーター	設定値	説明
Brush Switch	OFF	スティック演奏用
	ON	ブラシ演奏用

Brush Switch を「ON」にすると、DRUM KIT 画面にブラシ・アイコンが表示されます。



メモ

ブラシ演奏は、以下のときに有効になります。

- ブラシ演奏に対応したインストを選び、SNARE の HEAD に割り当てる (『データ・リスト』(PDF) 参照)。
- TRIGGER IN 端子 (SNARE) にメッシュ・パッドを接続するか、DIGITAL TRIGGER IN 端子にデジタル接続対応のパッドを接続し、アサインを「SNARE」に設定する。

5. [EXIT] ボタンを押して、BRUSH 画面から抜けます。

[DRUM KIT] ボタンやつまみの点灯色を設定する (KIT COLOR)

ドラム・キットごとに、[DRUM KIT] ボタンやサウンド・モディファイつまみの点灯色を変えることができます。ドラム・キットのジャンルに合わせて点灯色を変えたり、インストの作り込みの目安にしたりするなど、識別したいときに便利です。

1. [KIT EDIT] ボタンを押します。
KIT EDIT 画面が表示されます。
2. [F5] (OTHER) ボタンを押します。
KIT EDIT OTHER 画面が表示されます。
3. カーソル・ボタンで「KIT COLOR」を選び、[ENTER] ボタンを押します。
KIT COLOR 画面が表示されます。



4. カーソル・ボタンで点灯色を選びます。
5. [EXIT] ボタンを押して、KIT COLOR 画面から抜けます。

設定をコピーする (COPY)

本機では、ドラム・キットの設定やパッドごとの設定を、ユーザー・メモリーやSDカードからコピーすることができます。

注意

コピーを実行すると、コピーする先の内容は上書きされます。設定を残しておきたいときは、SDカードにバックアップしてください (P.47)。

1. [KIT EDIT] ボタンを押します。
KIT EDIT 画面が表示されます
2. [F5] (OTHER) ボタンを押します。
KIT EDIT OTHER 画面が表示されます。
3. カーソル・ボタンで「COPY」を選び、[ENTER] ボタンを押します。
COPY MENU 画面が表示されます。



4. カーソル・ボタンで、コピー・メニューを選び、[ENTER] ボタンを押します。

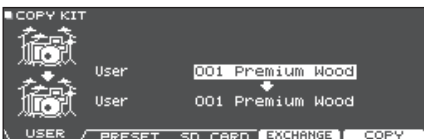
コピー・メニュー	説明
COPY KIT	ドラム・キットの設定をコピーします。
COPY PAD	パッドの設定 (インストの割り当てなど) をコピーします。

5. 選んだメニューに応じて、設定をコピーします。

例 1) ドラム・キットをコピーする (COPY KIT)

1. COPY MENU 画面で「COPY KIT」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

COPY KIT 画面が表示されます。

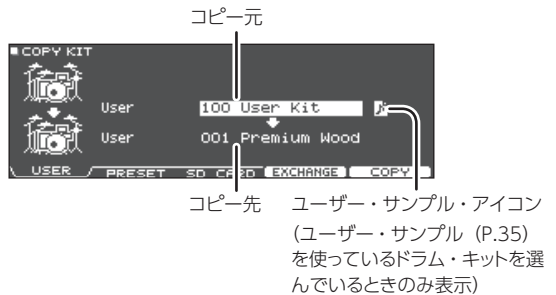


2. [F1] (USER) ~ [F3] (SD CARD) ボタンを押して、設定する項目を選びます。

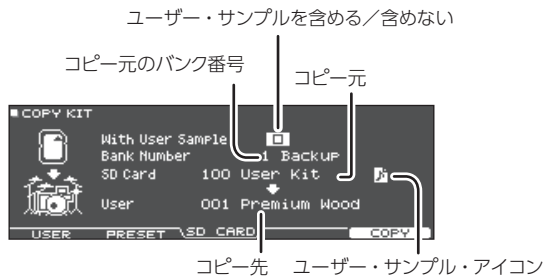
ボタン	説明
[F1] (USER)	ユーザー・メモリーからコピーします。コピー元がユーザーの場合のみ、コピー元とコピー先を入れ替える (エクステンジ) ことができます。
[F2] (PRESET)	プリセット・メモリーのドラム・キットをコピーします。工場出荷時のドラム・キットの設定に戻りたいときに選びます。 ※ 工場出荷時のドラム・キットに割り当てられているユーザー・サンプルは、コピーできません。
[F3] (SD CARD)	SDカードに保存されたバックアップ・データからドラム・キットをコピーします。

3. カーソル・ボタンでパラメーターを選び、ダイヤルでコピーの設定をします。

USER、PRESET



SD CARD



※ ユーザー・サンプルが含まれていないバックアップ・データをコピーする場合、「With User Sample」にチェックを入れることはできません。

ドラム・キットをエディットする

4. [F5] (COPY) ボタンを押します。

[F4] (EXCHANGE) ボタンを押すと、ユーザー・メモリーを入れ替えることができます (USER のみ)。

確認画面が表示されます。



中止するときは、「CANCEL」を選んで [ENTER] ボタンを押します。

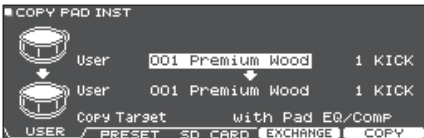
5. カーソル・ボタンで「OK」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

ドラム・キットがコピーされます。

例 2) パッドをコピーする (COPY PAD)

1. COPY MENU 画面で「COPY PAD」を選び、[ENTER] ボタンを押します

COPY PAD INST 画面が表示されます。

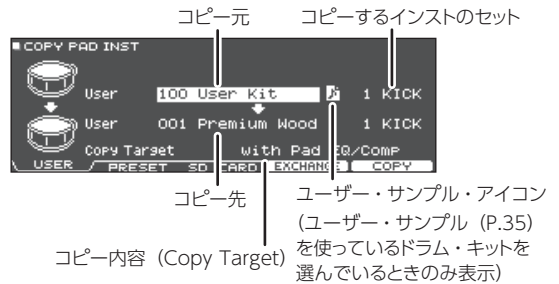


2. [F1] (USER) ~ [F3] (SD CARD) ボタンを押して、設定する項目を選びます。

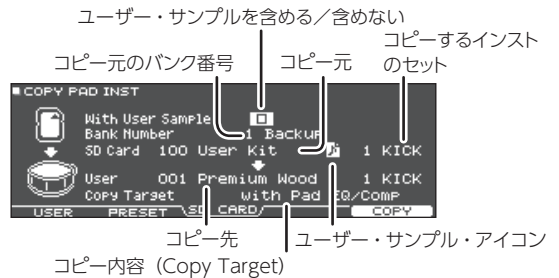
ボタン	説明
[F1] (USER)	ユーザー・メモリーからコピーします。コピー元がユーザーの場合のみ、コピー元とコピー先を入れ替える (エクスチェンジ) ことができます。
[F2] (PRESET)	プリセット・メモリーのインスタをコピーします。工場出荷時のドラム・キットの設定に戻りたいときに選びます。 ※ 工場出荷時のドラム・キットに割り当てられているユーザー・サンプルは、コピーできません。
[F3] (SD CARD)	SD カードに保存されたバックアップ・データからインスタをコピーします。

3. カーソル・ボタンでパラメーターを選び、ダイヤルでコピーの設定をします。

USER、PRESET



SD CARD



※ ユーザー・サンプルが含まれていないバックアップ・データをコピーする場合、「With User Sample」にチェックを入れることはできません。

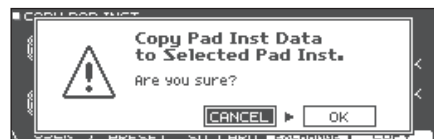
コピー内容 (Copy Target)

設定値	説明
with Pad EQ/Comp	パッドに関わる全ての設定 (インスタ、EDIT、ボリューム、ROOM / OVERHEAD のセンド、Pad EQ/Comp など) をコピーします。
Inst/VEdit Only	パッドの設定のうち、インスタの設定 (インスタ、EDIT など)、ボリューム、ROOM / OVERHEAD のセンドなど、Pad Eq/Comp 以外をコピーします。
Pad EQ/Comp Only	パッドの設定のうち、パッド・イコライザー (P.31)、パッド・コンプレッサー (P.32) の設定のみをコピーします。

4. [F5] (COPY) ボタンを押します。

[F4] (EXCHANGE) ボタンを押すと、ユーザー・メモリーを入れ替えることができます (USER のみ)。

確認画面が表示されます。



中止するときは、「CANCEL」を選んで [ENTER] ボタンを押します。

5. カーソル・ボタンで「OK」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

インスタがコピーされます。

システム設定編

各種設定をする (SYSTEM)

SYSTEM の基本操作

本機の設定のバックアップや電源に関する設定など、本機全体で共通の設定を「システム」といいます。

1. [SYSTEM] ボタンを押します。

SYSTEM 画面が表示されます。



2. カーソル・ボタンで設定したいメニューを選び、[ENTER] ボタンを押します。

メニュー	説明	ページ
BLUETOOTH	Bluetooth の設定をします。	P.20、 P.46
SD CARD	SD カードを初期化したり、SD カードに本機の設定のバックアップを取ったりすることができます。	P.47
TRIGGER	本機がパッドからの信号を確実に処理できるように、トリガーの設定をします。パッドの感度 (SENSITIVITY) などを調節することができます。	P.51
OUTPUT	本機からの音の出力先を設定します。	P.55
USB AUDIO	USB オーディオの設定をします。	P.58
MIDI	MIDI 機器に接続したときの、本機の MIDI の設定をします。	P.59
OPTION	MIX IN 端子、ディスプレイなどの設定をします。	P.60
AUTO OFF	一定時間経過すると電源が自動的に切れるようにするかを設定します。	P.61
INFO	プログラムのバージョンなど、TD-27 本体に関する情報を示します。	P.62
FACTORY RESET	工場出荷時の設定に戻します。	P.62

3. 選んだメニューに応じて、カーソル・ボタンとダイヤルで設定を変更します。

4. [DRUM KIT] ボタンを押して、DRUM KIT 画面に戻ります。

Bluetooth の設定をする (BLUETOOTH)

本機の Bluetooth 機能をオン／オフしたり、ペアリングの開始をしたりします。また、本機とスマートフォンのアプリをつないで使う場合や、本機が複数台ある場所でスマートフォンとペアリングする場合の設定をします。

1. [SYSTEM] ボタンを押します。

SYSTEM 画面が表示されます。

2. カーソルを「BLUETOOTH」に合わせ、[ENTER] ボタンを押します。

BLUETOOTH 画面が表示されます。

Bluetooth 機能をオン／オフにする場合

3. [F5] (ON / OFF) ボタンを押します。

本機の Bluetooth 機能がオンまたはオフになります。

Bluetooth 機能の設定をする場合

3. [F2] (SETUP) ボタンを押します。

4. カーソル・ボタンでパラメーターを選び、ダイヤルで設定値を変更します。

パラメーター	設定値	説明
Bluetooth MIDI	ON	オンにすると、スマートフォンなどの Bluetooth MIDI 対応アプリと本機をつないで使うことができるようになります。
	OFF	工場出荷時の設定では、オフになっています。
Device ID	OFF	工場出荷時の設定では、オフになっています。
	1 ~ 99	本機が複数台ある場所でスマートフォンとペアリングする場合は、各機器に ID (識別番号) を設定することができます。Device ID を設定すると、スマートフォンに表示されるデバイス名の末尾に設定した数字が付きます。 (例: 「TD-27 AUDIO 1」 「TD-27 MIDI 1」 など)

5. [F5] (SAVE) ボタンを押します。

変更した設定が保存されます。

メモ

Bluetooth の設定をリセットする場合は、BLUETOOTH SETUP 画面で [F1] (RESET) ボタンを押します。

SD カードにデータをバックアップする (SD CARD)

本機に記憶されている設定を、SD カードに保存 (バックアップ) したり、本機に読み込んだり (ロード) することができます。

すべての設定をバックアップする (SAVE)

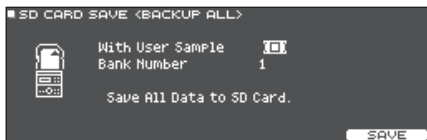
本機に記憶されているすべての設定をひとつにまとめて、SD カードに保存します (最大 99 セット)。

メモ

ドラム・キットごとにバックアップ/ロードすることもできます (P.48)。

1. SD カードを本機に挿入します (P.11)。
2. [SYSTEM] ボタンを押します。
SYSTEM 画面が表示されます。
3. カーソル・ボタンで「SD CARD」を選び、[ENTER] ボタンを押します。
SD CARD MENU 画面が表示されます。
4. カーソルを「SAVE」に合わせ、[ENTER] ボタンを押します。

SD CARD SAVE <BACKUP ALL> 画面が表示されます。



5. バックアップの設定をします。

パラメーター	説明
With User Sample	ユーザー・サンプルをバックアップするか選びます。
Bank Number	バックアップ番号を選びます。

※ ユーザー・サンプルもバックアップする場合、保存に数分かかることがあります。また、ユーザー・サンプルをバックアップしない場合、ユーザー・サンプルを削除したりリナンバーしたりすると、バックアップを読み込んででもドラム・キットは正しく再現されません。

6. [F5] (SAVE) ボタンを押します。

メモ

バックアップ・データに名前を付けたいときは、[F4] (NAME) ボタンを押して、名前を付けます (P.39)。

7. [F5] (EXECUTE) ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



中止するときは「CANCEL」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

8. カーソル・ボタンで「OK」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

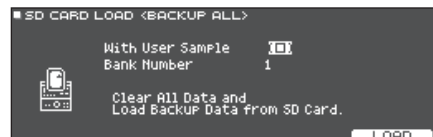
SD カードに設定が保存されます。

バックアップ・データを SD カードから読み込む (LOAD)

SD カードに保存したバックアップ・データを本機に読み込みます (ロード)。

1. SD カードを本機に挿入します (P.11)。
2. [SYSTEM] ボタンを押します。
SYSTEM 画面が表示されます。
3. カーソル・ボタンで「SD CARD」を選び、[ENTER] ボタンを押します。
SD CARD MENU 画面が表示されます。
4. カーソル・ボタンで「LOAD」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

SD CARD LOAD <BACKUP ALL> 画面が表示されます。



5. ロードの設定をします。

パラメーター	説明
With User Sample	ユーザー・サンプルをロードするか選びます。
Bank Number	バックアップ番号を選びます。

各種設定をする(SYSTEM)

- ※ ユーザー・サンプルを読み込むと、本体内のユーザー・サンプルはすべて消去されます。また、ユーザー・サンプルのサイズによっては、読み込みに 10 分以上かかることがあります。
- ※ ユーザー・サンプルが含まれていないバックアップ・データをロードする場合、「With User Sample」にチェックを入れることはできません。

6. [F5] (LOAD) ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



中止するときは「CANCEL」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

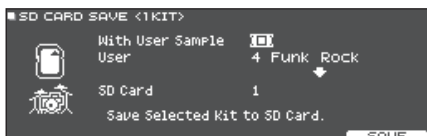
7. カーソル・ボタンで「OK」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

SD カードからバックアップ・データが読み込まれます。

SD カードにドラム・キットをバックアップする (1 KIT SAVE)

本機に記憶されているドラム・キット単体の設定を、SD カードにバックアップします (最大 999 個)。

1. SD カードを本機に挿入します (P.11)。
2. [SYSTEM] ボタンを押します。
SYSTEM 画面が表示されます。
3. カーソル・ボタンで「SD CARD」を選び、[ENTER] ボタンを押します。
SD CARD MENU 画面が表示されます。
4. カーソル・ボタンで、「1KIT SAVE」を選び、[ENTER] ボタンを押します。
SD CARD SAVE <1KIT> 画面が表示されます。



5. バックアップの設定をします。

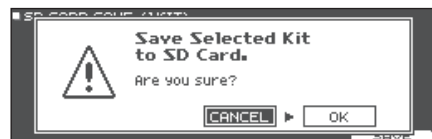
パラメーター	説明
With User Sample	ドラム・キットに割り当てられているユーザー・サンプルも一緒にバックアップするか選びます。

パラメーター	説明
User	バックアップするドラム・キットを選びます。
SD Card	バックアップ番号を選びます。

- ※ ユーザー・サンプルもバックアップする場合、ユーザー・サンプルのサイズによっては、保存に数分かかることがあります。また、ユーザー・サンプルをバックアップしない場合、バックアップ後に本機のユーザー・サンプルを削除したり、リナンバーしたりすると、キット・バックアップ・データを読み込んでも、ドラム・キットは正しく再現されません。

6. [F5] (SAVE) ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



中止するときは、「CANCEL」を選んで [ENTER] ボタンを押します。

7. カーソル・ボタンで「OK」を選んで、[ENTER] ボタンを押します。

SD カードにキット・バックアップ・データが保存されます。

キット・バックアップ・データをSDカードから読み込む (1 KIT LOAD)

SD カードに保存したキット・バックアップ・データを本機にロードします。

1. SD カードを本機に挿入します (P.11)。
2. [SYSTEM] ボタンを押します。
SYSTEM 画面が表示されます。
3. カーソル・ボタンで「SD CARD」を選び、[ENTER] ボタンを押します。
SD CARD MENU 画面が表示されます。
4. カーソル・ボタンで、「1KIT LOAD」を選び、[ENTER] ボタンを押します。
SD CARD LOAD <1KIT> 画面が表示されます。



5. ロードの設定をします。

パラメーター	説明
With User Sample	ドラム・キットと一緒に保存されているユーザー・サンプルをロードするか選びます。
SD Card	ロードするバックアップ番号を選びます。
User	ロード先のドラム・キットを選びます。

- ※ ユーザー・サンプルをロードすると、すでに同じユーザー・サンプルが存在していても、新しくユーザー・サンプルが作成されます。また、ロードしたドラム・キットには、新しく作成されたユーザー・サンプルが自動的に割り当てられます。
- ※ ユーザー・サンプルをロードするには、ユーザー・サンプルの空き容量が必要です。
- ※ ユーザー・サンプルが含まれていないキット・バックアップ・データをロードする場合、「With User Sample」にチェックを入れることはできません。

6. [F5] (LOAD) ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



中止するときは、「CANCEL」を選んで [ENTER] ボタンを押します。

7. カーソル・ボタンで「OK」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

SD カードからキット・バックアップ・データが読み込まれます。

バックアップ・データを SD カードから削除する (DELETE / 1 KIT DELETE)

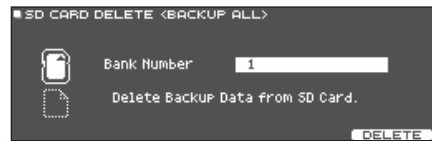
不要なバックアップ・データ (ユーザー・サンプルを含む) を SD カードから削除します。

1. SD カードを本機に挿入します (P.11)。
2. [SYSTEM] ボタンを押します。
SYSTEM 画面が表示されます。
3. カーソル・ボタンで「SD CARD」を選び、[ENTER] ボタンを押します。
SD CARD MENU 画面が表示されます。
4. カーソルを削除するメニューに合わせ、[ENTER] ボタンを押します。

メニュー	説明
DELETE	すべての設定をひとまとめにしたバックアップ・データを削除します。
1 KIT DELETE	ドラム・キット単体のバックアップ・データを削除します。

SD CARD DELETE 画面が表示されます。

例) DELETE のとき



5. 削除の設定をします。

パラメーター	説明
Bank Number (DELETE のとき)	削除するバックアップ番号を選びます。
SD Card (1 KIT DELETE のとき)	削除するキット・バックアップ番号を選びます。

6. [F5] (DELETE) ボタンを押します。

確認画面が表示されます。

例) DELETE のとき



中止するときは、「CANCEL」を選んで [ENTER] ボタンを押します。

7. カーソル・ボタンで「OK」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

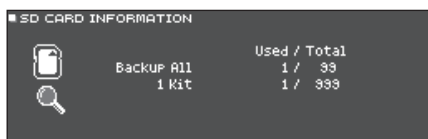
SD カードからバックアップ・データが削除されます。

各種設定をする (SYSTEM)

SD カードの使用状況を確認する (INFO)

SD カードに保存されている設定の数などを確認することができます。

1. SD カードを本機に挿入します (P.11)。
2. [SYSTEM] ボタンを押します。
SYSTEM 画面が表示されます。
3. カーソル・ボタンで「SD CARD」を選び、
[ENTER] ボタンを押します。
SD CARD MENU 画面が表示されます。
4. カーソル・ボタンで「INFO」を選び、[ENTER]
ボタンを押します。
SD CARD INFO 画面が表示されます。



パラメーター	説明
Backup All	保存されているバックアップ・データの数
1 Kit	保存されているキット・バックアップ・データの数

5. [DRUM KIT] ボタンを押して、DRUM KIT 画面に戻ります。

SD カードを初期化する (FORMAT)

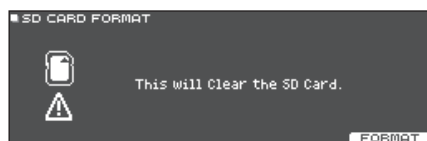
SD カードを初期化 (フォーマット) します。

※ 初めて本機で SD カードを使うときは、SD カードをフォーマットしてください。

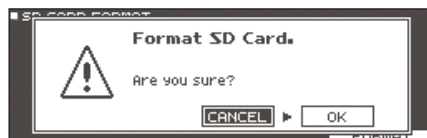
注意

SD カードを初期化すると、SD カード内のデータはすべて消去されます。

1. SD カードを本機に挿入します (P.11)。
2. [SYSTEM] ボタンを押します。
SYSTEM 画面が表示されます。
3. カーソル・ボタンで「SD CARD」を選び、
[ENTER] ボタンを押します。
SD CARD MENU 画面が表示されます。
4. カーソル・ボタンで「FORMAT」を選び、
[ENTER] ボタンを押します
SD CARD FORMAT 画面が表示されます。



5. [F5] (FORMAT) ボタンを押します。
確認画面が表示されます。



中止するときは「CANCEL」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

6. カーソル・ボタンで「OK」を選び、[ENTER]
ボタンを押します。
SD カードが初期化されます。

トリガーの設定をする (TRIGGER)

パッドからの信号を本機が確実に処理できるように、トリガーの設定をします。

ドラム音源を単品で購入した場合や、ドラム・セットのパッドを拡張する場合／ドラム・セットのパッド以外のパッドにつなぎ替える場合などに設定が必要になります。

パッドの種類を設定する (BANK)

トリガー・バンクで使用するパッドの種類 (トリガー・タイプ) を、トリガー・インプットごとに指定します。

トリガー・タイプ

さまざまなトリガーのパラメーターを、各パッドに適した値に調整し、ひとまとめにしたものです。各トリガー・インプットで使っているパッドに最適な設定をするために、接続しているパッドの種類 (KD-10、VH-10 など) を指定します。

トリガー・バンク

12 個のトリガーの設定をひとつにまとめたものです。ドラム・セットの種類 (TD-27KV、VAD506 など) や、個別に設定したトリガー・バンクを指定します。トリガー・バンクは 8 個作成できます。

1. [SYSTEM] ボタンを押します。

SYSTEM 画面が表示されます。

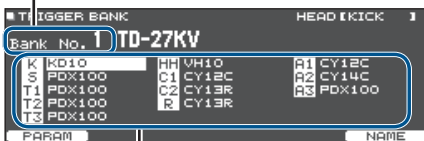
2. カーソル・ボタンで、「TRIGGER」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

TRIGGER MENU 画面が表示されます。

3. カーソルを「BANK」に合わせて、[ENTER] ボタンを押します

TRIGGER BANK 画面が表示されます。

トリガー・バンク番号



トリガー・タイプ

4. トリガー・バンク番号にカーソルを合わせ、ダイヤルでバンクを選びます。

5. パッドを叩くかカーソル・ボタンで、設定するパッドを選びます。

表示	説明	表示	説明
K	KICK	C	CRASH1、2
S	SNARE	R	RIDE
1 ~ 3	TOM1 ~ 3	A	AUX1 ~ 3
H	HI-HAT		

6. ダイヤルで、トリガー・タイプを設定します。

※ デジタル接続対応のパッドが割り当てられているトリガー・インプットは、トリガー・タイプを変更することはできません。

メモ

トリガー・タイプを設定すると、一部のパラメーター (クロストーク・キャンセルなど) を除いたトリガー・パラメーターが、最適値に設定されます。これらは参考値ですので、パッドの取り付けかたや使用状況に合わせて微調整してください。

参照

設定できるパラメーターについては、『データ・リスト』(PDF) をご覧ください。

ハイハットの設定をする (HI-HAT)

ハイハットを使うときは、本機でオフセットの調整をしてください。オープン、クローズやペダルの動きを正しく検出するために必要です。

参照

- オフセットの調整方法については、「ハイハットの設定をする」(P.13) をご覧ください。
- 必要に応じて、パラメーターを微調整します。設定できるパラメーターについては、『データ・リスト』(PDF) をご覧ください。

各種設定をする (SYSTEM)

デジタル接続対応パッドを設定する (DIGITAL)

DIGITAL TRIGGER IN 端子に初めて接続するデジタル接続対応のパッドでは、表示された画面に従って、接続したパッドをどのトリガー・インプットに割り当てるか設定します (P.11)。

ここでは、設定後に割り当て先 (アサイン) を変更するときの操作について説明します。

- ※ 専用接続ケーブルや TRIGGER IN 端子につないだパッドと同じトリガー・インプットに割り当てると、TRIGGER INPUT 端子と TRIGGER IN 端子に接続したパッドの音は出力されません。
- ※ ファクトリー・リセットを実行すると、デジタル接続対応パッドの接続履歴や設定は初期化されます。

1. [SYSTEM] ボタンを押します。

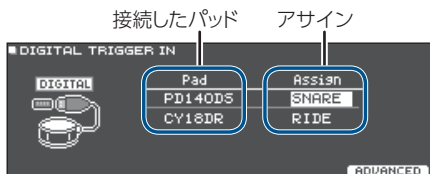
SYSTEM 画面が表示されます。

2. カーソル・ボタンで、「TRIGGER」を選び、「[ENTER] ボタンを押します。

TRIGGER MENU 画面が表示されます。

3. カーソル・ボタンで、「DIGITAL」を選び、「[ENTER] ボタンを押します。

DIGITAL TRIGGER IN 画面が表示されます。



4. カーソル・ボタンで設定するパッドを選び、ダイヤルでアサインを設定します。

パッドを叩いて選ぶこともできます。

どのトリガー・インプットにもアサインしない場合は、「N/A」を選びます。

- ※ 同じアサインを複数設定することはできません。

パッドの感度を調節する (PARAM)

パッドの感度は、トリガー・タイプ (P.51) を設定すると自動的に各パッドに適した値に変更されるため、通常は設定する必要はありません。

より細かい設定をするときや、アコースティック・ドラム・トリガーを使うときに調節します。

1. [SYSTEM] ボタンを押します。

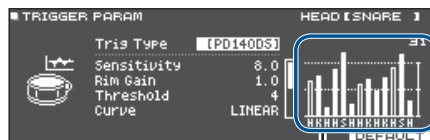
SYSTEM 画面が表示されます。

2. カーソル・ボタンで、「TRIGGER」を選び、「[ENTER] ボタンを押します。

TRIGGER MENU 画面が表示されます。

3. カーソル・ボタンで、「PARAM」を選び、「[ENTER] ボタンを押します。

TRIGGER PARAM 画面が表示されます。



ペロシティー・メーター

叩いた強さ (ペロシティー) を表します

表示	説明	表示	説明
K	KICK	C	CRASH1、2
S	SNARE	R	RIDE
T	TOM1～3	A	AUX1～3
H	HI-HAT		

4. 設定するパッドを、叩いて選びます。

5. カーソル・ボタンでパラメーターを選び、ダイヤルで設定値を変更します。

パラメーター	設定値	説明
Sensitivity	1.0 ~ 32.0	パッドを叩く強さと音量のバランス (感度) を調節します。値を大きくすると感度が高くなり、パッドを弱く叩いても大きな音量で鳴ります。値を小さくすると感度が低くなり、パッドを強く叩いても小さな音量で鳴ります。
Rim Gain	0 ~ 3.2	リムやエッジを叩く強さと音の大きさのバランスを調節します。値を大きくすると、リムを弱く叩いても大きな音量で鳴ります。値を小さくすると、リムを強く叩いても小さな音量で鳴ります。リム・ショット奏法に対応したパッドで有効です。

メモ

- その他のパラメーターについては、『データ・リスト』(PDF) をご覧ください。
- 初期値に戻すときは、[F5] (DEFAULT) ボタンを押します。一部のパラメーター (クロストーク・キャンセルなど) を除いたトリガー・パラメーターが、初期値に設定されます。

- ベロシティーは、TRIGGER IN 端子に接続したパッドは最大 127、DIGITAL TRIGGER IN 端子に接続した HI-Reso Velocity に対応したデジタル接続対応のパッドは、最大 127+32 (MIDI CONTROL の HI-Reso Velocity が「ON」のとき) と表示されます。

デジタル接続対応パッドを細かく設定する

次の設定は、デジタル接続対応パッドの初回接続時に、自動的に各パッドに適した値に設定されるため、通常は設定する必要はありません。より細かい調節をするときにだけ、設定してください。

- [SYSTEM] ボタンを押します。**
SYSTEM 画面が表示されます。
 - カーソル・ボタンで、「TRIGGER」を選び、「ENTER」ボタンを押します。**
TRIGGER MENU 画面が表示されます。
 - カーソル・ボタンで、「DIGITAL」を選び、「ENTER」ボタンを押します。**
DIGITAL TRIGGER IN 画面が表示されます。
 - [F5] (ADVANCED) ボタンを押します。**
DIGITAL TRIGGER ADVANCED 画面が表示されます。
- 
- パッドを叩くかカーソル・ボタンで、設定するパッドを選びます。**
 - カーソル・ボタンで、Advanced Setting のパラメーターにカーソルを合わせます。**
 - カーソル・ボタンでパラメーターを選び、ダイヤルで設定値を変更します。**

※ パッドによって、設定できるパラメーターが異なります。

参照

設定できるパラメーターについては、『データ・リスト』(PDF) をご覧ください。

メモ

初期値に戻すときは、[F5] (DEFAULT) ボタンを押します。

一部のパラメーター (クロストーク・キャンセルなど) を除いたトリガー・パラメーターが、初期値に設定されます。

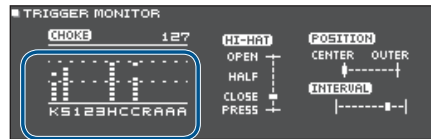
各パッドのトリガー情報を見る (MONITOR)

各パッドの叩く強さ (ベロシティー) や、ハイハットの開き具合、スネア、ライド・シンバル、タム、AUX の打点位置をリアルタイムに表示することができます。

メモ

MIDI IN 端子に MIDI 機器を接続している場合は、MIDI IN 端子から受信した演奏情報も表示されます。

- [SYSTEM] ボタンを押します。**
SYSTEM 画面が表示されます。
- カーソル・ボタンで、「TRIGGER」を選び、「ENTER」ボタンを押します。**
TRIGGER MENU 画面が表示されます。
- カーソル・ボタンで、「MONITOR」を選び、「ENTER」ボタンを押します。**
TRIGGER MONITOR 画面が表示されます。



ベロシティー・メーター

(叩いた強さ (ベロシティー) を表します)

表示	説明	表示	説明
K	KICK	C	CRASH1、2
S	SNARE	R	RIDE
1 ~ 3	TOM1 ~ 3	A	AUX1 ~ 3
H	HI-HAT		

- パッドを叩きます。**

画面のメーター表示がリアルタイムに変化し、以下の情報を確認することができます。

表示	説明
HI-HAT	ハイハットの開き具合を表示します。「OPEN」に近いほど大きく開いた状態、「PRESS」に近いほど閉じた状態です。
POSITION	スネア、ライド・シンバル、タムと AUX のリムの打点位置を表示します。「CENTER」に近いほどパッドの中心に近い位置、「OUTER」に近いほどパッドの端に近い位置を叩いていることを表します。
INTERVAL	パッドを叩く時間の間隔を表示します。右にいくほど間隔が短いことを表します。連打の間隔に応じて、シンバルやスネアのロールの音色が滑らかに変化します。

各種設定をする (SYSTEM)

表示	説明
CHOKE	シンバルがチョークされているときに、「CHOKE」アイコンが表示されます。チョークに対応しているパッドで、チョーク奏法をすると、CHOKE アイコンが表示されます。

他のパッドの振動による誤発音を防ぐ (クロストーク・キャンセル)

同じドラム・スタンドに 2 つのパッドを取り付けている場合に、一方のパッドを叩いたときの振動で、もう一方のパッドが発音してしまうことがあります。この現象を「クロストーク」といいます。クロストーク・キャンセルは、このようなクロストークを防ぐための設定です。

※ 工場出荷時の設定では、ドラム・スタンド (MDS-Standard 2 または DCS-10 / DBS-10) を使った場合に最適な設定がされているため、通常は設定を変更する必要はありません。

クロストーク・キャンセルの設定が必要な場合

- トリガー・バンク (P.51) の設定にないパッド構成で使用する場合
- ドラム・スタンド (MDS-Standard 2 または DCS-10 / DBS-10) 以外のドラム・スタンドを使用する場合
- 別売のドラム・トリガーを使用する場合

クロストーク・キャンセルの設定をする前に

外部からの振動が伝わりにくくなるようにパッドをセッティングすることで、クロストークを最小限に防ぐことができます。以下の点に注意して、パッドをセッティングしてください。

- パッド同士がぶつからないようにセッティングする
- 複数のパッドを同じスタンドに取り付ける場合、距離を離す
- パッドの取り付けノブをしっかりと締め付けて、スタンドに取り付ける

※ アコースティック・ドラムの生音やモニター・スピーカーからの音の影響で、パッドが発音してしまうことがあります。この場合、クロストーク・キャンセルを設定しても解決できません。以下に注意してセッティングしてください。

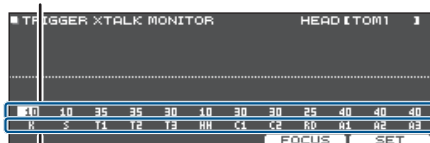
- パッドをスピーカーから離して設置する
- パッドに角度をつけて、音の影響を受けにくい場所にセッティングする
- パッドの Threshold の値を大きくする (『データ・リスト』 (PDF) 参照)

クロストーク・キャンセルの設定例

タム 1 のパッドを叩いたときに、クラッシュ 1 の音が鳴ってしまう

1. [SYSTEM] ボタンを押します。
SYSTEM 画面が表示されます。
2. カーソル・ボタンで、「TRIGGER」を選び、[ENTER] ボタンを押します。
TRIGGER MENU 画面が表示されます。
3. カーソル・ボタンで、「XTALK」を選び、[ENTER] ボタンを押します。
TRIGGER XTALK MONITOR 画面が表示されます。

クロストーク・キャンセルの値



パッド

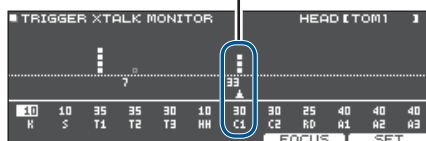
4. タム 1 (T1) のパッドを叩きます。

TRIGGER XTALK MONITOR 画面に、クロストークの検出状況が表示されます。

下の図では、タム 1 (T1) を叩いたときに、タム 2 (T2) とクラッシュ 1 (C1) が振動を検出したことを示しています。

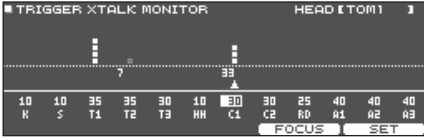
クロストークしているパッドには、「▲」が表示されます。

クロストークしている



振動を検出したパッド	説明
タム 2 (T2)	クロストーク・キャンセルが効いているため、発音しません。
クラッシュ 1 (C1)	クロストークしています。クロストーク・キャンセルの値を調整することで、発音しないようにすることができます。

5. [F4] (FOCUS) ボタンを押して、C1 にカーソルを合わせます。



複数のパッドがクロストークしている場合は、[F4] (FOCUS) ボタンを押すたびに、クロストークしている別のパッドにカーソルが移動します。

6. [F5] (SET) ボタンを押します。

この例では、クラッシュ 1 の発音をキャンセルできる最小値「33」が自動設定されます。

設定値	説明
0 ~ 80	クロストーク・キャンセル処理の強さ

※ クロストーク・キャンセルを自動設定する場合、40 以上の値にはなりません。40 以上に設定する必要があるときは、ダイヤルで値を変更してください。

7. 手順 5、6 を繰り返して、クロストーク・キャンセルの設定をします。

メモ

カーソル・ボタンとダイヤルを使って、手動でクロストーク・キャンセルの値を設定することもできます。

音の出力先を設定する (OUTPUT)

MASTER OUT 端子、DIRECT OUT 端子、PHONES 端子からの出力を設定します。

メモ

USB オーディオ (P.58) の出力チャンネル 1 ~ 2 は MASTER OUT 端子、出力チャンネル 3 ~ 4 は DIRECT OUT 端子からの出力設定と共通の設定になります。

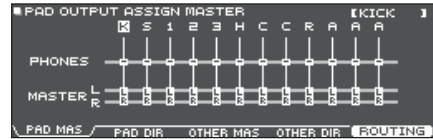
1. [SYSTEM] ボタンを押します。

SYSTEM 画面が表示されます。

2. カーソル・ボタンで、「OUTPUT」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

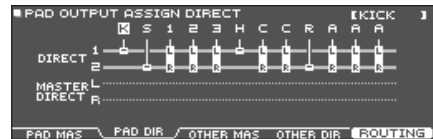
[F1] (PAD MAS) ボタン

各パッドの PHONES 端子、MASTER OUT 端子 (OUTPUT ROUTING の Master Out が「NORMAL」のとき) からの出力を設定します。



[F2] (PAD DIR) ボタン

各パッドの DIRECT OUT 1、2 端子、MASTER OUT 端子 (OUTPUT ROUTING の Master Out が「DIRECT」のとき) からの出力を設定します。



[F3] (OTHER MAS) ボタン

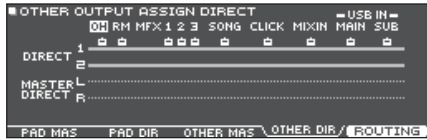
ROOM、MFX などの、PHONES 端子、MASTER OUT 端子 (OUTPUT ROUTING の Master Out が「NORMAL」のとき) からの出力を設定します。



[F4] (OTHER DIR) ボタン

ROOM、MFX などの、DIRECT OUT 1 / 2 端子、MASTER OUT 端子 (OUTPUT ROUTING の Master Out が「DIRECT」のとき) からの出力を設定します。

各種設定をする(SYSTEM)



3. パッドを叩くかカーソル・ボタンで、設定するパッドまたは機能を選びます。

表示	説明	表示	説明
K	KICK	C	CRASH1、2
S	SNARE	R	RIDE
1 ~ 3	TOM1 ~ 3	A	AUX1 ~ 3
H	HI-HAT		

表示	説明
OH	オーバーヘッド (P.32)
RM	ルーム (P.32)
MFY1 ~ 3	マルチ・エフェクト 1 ~ 3 (P.32)
SONG	ソング (P.21)
CLICK	クリック (P.24) と、ソングのクリック・トラック (P.23) の出力
MIXIN	MIX IN 端子に入力された音と Bluetooth オーディオの入力音 (P.20)
USB IN MAIN、SUB	USB COMPUTER 端子に入力された音 (P.59)

4. カーソル・ボタンとダイヤルで、出力先を選びます。

5. [DRUM KIT] ボタンを押して、DRUM KIT 画面に戻ります。

出力先の初期値

端子	出力の設定
PHONES	すべて
MASTER OUT	すべて
DIRECT OUT 1	KICK、HI-HAT
DIRECT OUT 2	SNARE、RIDE
DIRECT OUT 1,2	TOM1 ~ 3、CRASH1、2、AUX1 ~ 3

出力先の設定例

出力先の設定例を紹介します。

例 1) モニターと PA を同じ出力にする

PHONES 端子、MASTER OUT 端子、DIRECT OUT (1、2) 端子から同じ音が出力されます。

演奏者がモニターしている音と、PA の音が同じ音になります。

※ DIRECT OUT 側には、マスター・コンプとマスター EQ の効果はかかりません。

端子	出力の設定	接続先例
PHONES	すべて	モニター・ヘッドホン
MASTER OUT	すべて	ドラム用モニター
DIRECT OUT 1,2	すべて	PA (外部ミキサー)

例 2) クリックを聴きながら演奏する

PHONES 端子からは、モニター用にすべての音が出力されます。

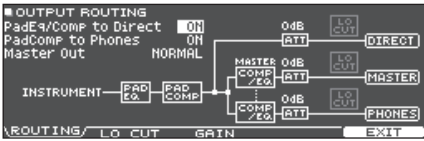
CLICK (クリックと曲のクリック・トラックの出力)、USB IN SUB (USB COMPUTER 端子に入力された音) などをヘッドホンだけに出力することで、演奏者のみクリック音を聴きながら演奏することができます。

端子	出力の設定	接続先例
PHONES	すべて CLICK、USB IN SUB は PHONES のみ出力	モニター・ヘッドホン
MASTER OUT	SONG、USB IN MAIN のみ出力	PA (外部ミキサー)
DIRECT OUT 1	KICK	
DIRECT OUT 2	SNARE HI-HAT RIDE TOM 1 ~ 3 CRASH 1、2 AUX1 ~ 3	

出力の経路 (ルーティング) を設定する

MASTER OUT 端子、DIRECT OUT 端子、PHONES 端子へ出力する経路を設定します。

1. [SYSTEM] ボタンを押します。
SYSTEM 画面が表示されます。
2. カーソル・ボタンで、[OUTPUT] を選び、[ENTER] ボタンを押します。
3. [F5] (ROUTING) ボタンを押します。



4. [F1] (ROUTING) ~ [F3] (GAIN) ボタンを押して、設定する項目を選びます。

ボタン	説明
[F1] (ROUTING)	パッド・イコライザー／コンプレッサー、マスター・アウトの出力などの、かかりかたやルーティングを変更します。
[F2] (LO CUT)	低域の周波数をカットして出力するかを設定します。 周波数は各出力で同じ設定になります。
[F3] (GAIN)	MASTER OUT 端子、PHONES 端子、DIRECT OUT 端子の各音量を調節します (ゲイン)。本機の出力音が大きすぎて、受け取り側で歪んだりする場合に音量を小さくしたり、PHONES 端子からの出力音を最適な音量に調節したりすることができます。 ※ 音量を上げすぎると歪むことがあります。ご注意ください。

参照

設定できるパラメーターについては、『データ・リスト』(PDF) をご覧ください。

5. [DRUM KIT] ボタンを押して、DRUM KIT 画面に戻ります。

ルーティング・パラメーターの設定例

パラメーター	説明
PadEq/ Comp to Direct	<p>[OFF] に設定したとき</p> <ul style="list-style-type: none"> • DIRECT OUT 端子の出力は、パッド・イコライザーとパッド・コンプレッサーがバイパスされます。 • MASTER OUT 端子の出力は、OUTPUT ROUTING の Master Out を [DIRECT] に設定すると、パッド・イコライザーとパッド・コンプレッサーがバイパスされます。 • 各パッドのイコライザーとコンプレッサーを PA で調整しつつ、演奏者は各ドラム・キットのパッド・イコライザーとパッド・コンプレッサーの効果かけた音で演奏できます。
PadComp to Phones	<p>[OFF] に設定したとき</p> <ul style="list-style-type: none"> • PHONES 端子の出力は、パッド・コンプレッサーが無効になります。 • 出力先の設定例 1 (P.56) などでは、ドラム用モニターや PA にパッド・コンプレッサーでダイナミクスを抑えた音作りをしつつ、モニター・ヘッドホンではダイナミクスを生かした音を聞きながら演奏できます。
Master Out	<p>[DIRECT] に設定したとき</p> <ul style="list-style-type: none"> • MASTER OUT 端子の出力は、マスター・コンプとマスター EQ の効果が無効になり、MASTER OUT 端子を DIRECT OUT 端子のように使うことができます ([MASTER] つまみの設定は有効です)。 • この設定は USB オーディオのパソコンへの出力にも有効です。 • PHONES 端子からは、マスター・コンプとマスター EQ 込みの音が出力されます。 • MASTER OUT 端子の出力をダイレクト・アウトとして出力するには、PAD OUTPUT 画面 (DIRECT タブ) や OTHER OUTPUT 画面 (DIRECT タブ) で、MASTER DIRECT に出力する設定にしてください。

各種設定をする (SYSTEM)

USB オーディオの設定をする (USB AUDIO)

本機の USB COMPUTER 端子から出力される USB オーディオの出力先を設定して、パソコン上の DAW ソフトウェアなどに録音することができます。また、USB COMPUTER 端子に入力される USB オーディオの入力を設定して、パソコンで再生したオーディオを本機で鳴らすことができます。

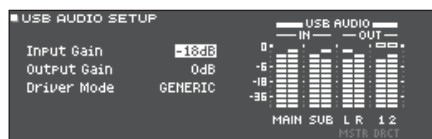
メモ

DAW ソフトウェアの設定については、お使いの DAW ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

USB ドライバーの設定をする

本機専用 USB ドライバーと、OS 標準のドライバーを切り替えます。

1. **[SYSTEM] ボタンを押します。**
SYSTEM 画面が表示されます。
2. **カーソル・ボタンで、「USB AUDIO」を選び、「[ENTER] ボタンを押します。**
USB AUDIO SETUP 画面が表示されます。



3. **Driver Mode にカーソルを合わせ、ダイヤルで設定値を変更します。**

パラメーター	設定値	説明
Driver Mode	GENERIC	OS 標準のドライバーを使用します。 USB MIDI のみに限定されます。
	VENDOR	ローランドが提供している本機専用のドライバーを使用します。 USB MIDI と USB オーディオが使用できます。

設定値を変更すると、本機の電源を入れ直すと有効になる旨のダイアログが表示されます。
メッセージを確認して、[ENTER] ボタンを押します。

4. **本機の電源を入れ直します。**

メモ

本体の電源を入れ直すとは有効になります。

USB オーディオの出力先を設定する

本機の USB COMPUTER 端子から出力される、USB オーディオの出力先を設定します。USB オーディオの出力音を、28ch のマルチ・トラックでパソコン上の DAW ソフトウェアなどに録音することができます。

- ※ MASTER OUT (L/MONO, R)、DIRECT OUT (1、2) の出力先の設定は、本機の MASTER OUT 端子と DIRECT OUT 端子からの出力設定と共通の設定になります。また、パッドごとにステレオで 2ch ずつ固定で出力されます。
- ※ USB オーディオの出力では、LO CUT と GAIN (OUTPUT ROUTING (P.57)) の効果はわかりません。

USB オーディオの出力先の設定表

Ch1-2	MASTER OUT	Ch15-16	HI-HAT
Ch3-4	DIRECT 1-2 OUT	Ch17-18	CRASH1
Ch5-6	KICK	Ch19-20	CRASH2
Ch7-8	SNARE	Ch21-22	RIDE
Ch9-10	TOM1	Ch23-24	AUX 1
Ch11-12	TOM2	Ch25-26	AUX 2
Ch13-14	TOM3	Ch27-28	AUX 3

参照

出力先の設定については、「音の出力先を設定する (OUTPUT)」(P.55) をご覧ください。

USB オーディオの出力レベルを調節する

1. **[SYSTEM] ボタンを押します。**
SYSTEM 画面が表示されます。
2. **カーソル・ボタンで「USB AUDIO」を選び、「[ENTER] ボタンを押します。**
USB AUDIO SETUP 画面が表示されます。



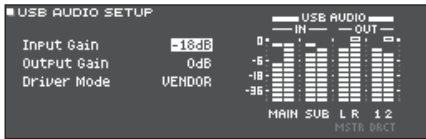
3. **Output Gain にカーソルを合わせ、ダイヤルで設定値を変更します。**

パラメーター	設定値	説明
Output Gain	-24 ~ +24dB	出力レベルの調節をします。 USB COMPUTER 端子から出力される、すべての USB オーディオの出力に有効です。

USB オーディオの入力を設定する

USB COMPUTER 端子に入力される、USB オーディオの入力を設定します。
パソコンで再生したオーディオを、本機で鳴らすことができます。

1. **[SYSTEM]** ボタンを押します。
SYSTEM 画面が表示されます。
2. **カーソル・ボタンで、「USB AUDIO」を選び、「[ENTER]** ボタンを押します。
USB AUDIO SETUP 画面が表示されます。



3. **カーソル・ボタンでパラメーターを選び、ダイヤルで設定値を変更します。**

パラメーター	設定値	説明
Input Gain	-36 ~ +12dB	入力レベルの調節をします。 USB COMPUTER 端子から入力される、USB オーディオ (Input MAIN、SUB) の入力に有効です。

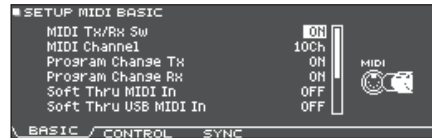
メモ

- その他のパラメーターについては、『データ・リスト』(PDF) をご覧ください。
 - USB オーディオの入力音の出力先を設定することができます (P.55)。
4. **[DRUM KIT]** ボタンを押して、DRUM KIT 画面に戻ります。

MIDI の設定をする (MIDI)

本機に MIDI 機器を接続した場合の、MIDI の設定をします。

1. **[SYSTEM]** ボタンを押します。
SYSTEM 画面が表示されます。
2. **カーソル・ボタンで、「MIDI」を選び、「[ENTER]** ボタンを押します。
SETUP MIDI BASIC 画面が表示されます。



3. **[F1] (BASIC) ~ [F3] (SYNC) ボタンを押して、設定する項目を選びます。**

ボタン	説明
[F1] (BASIC)	本機が MIDI データを送受信するチャンネルの設定など、MIDI の基本的な設定をします。
[F2] (CONTROL)	パッドの打点位置やハイハットの踏み込む深さなどに合わせて送受信する、MIDI メッセージを設定します。
[F3] (SYNC)	MIDI の同期に関する設定をします。

参照

設定できるパラメーターについては、『データ・リスト』(PDF) をご覧ください。

4. **カーソル・ボタンでパラメーターを選び、ダイヤルで設定値を変更します。**
5. **[DRUM KIT]** ボタンを押して、DRUM KIT 画面に戻ります。

各種設定をする (SYSTEM)

オプション設定をする (OPTION)

MIX IN 端子の入力レベルやディスプレイの明るさ調節、フットスイッチやパッドへの機能割り当てなどの設定をします。

1. [SYSTEM] ボタンを押します。

SYSTEM 画面が表示されます。

2. カーソル・ボタンで、[OPTION] を選び、[ENTER] ボタンを押します。

オプションの設定画面が表示されます。



3. [F1] (MIX IN) ~ [F4] (MODIFY) ボタンを押して、設定する項目を選びます。

ボタン	説明
[F1] (MIX IN)	MIX IN 端子と Bluetooth オーディオの入力レベルを調整します。
[F2] (LCD)	ディスプレイのコントラストと明るさを調節します。
[F3] (CTRL)	フットスイッチやパッドに機能を割り当てます。
[F4] (MODIFY)	サウンド・モディファイつまみを回したときに一時的に表示される、ウィンドウの表示時間を設定します。

参照

設定できるパラメーターについては、『データ・リスト』(PDF) をご覧ください。

4. カーソル・ボタンでパラメーターを選び、ダイヤルで設定値を変更します。

5. [DRUM KIT] ボタンを押して、DRUM KIT 画面に戻ります。

フットスイッチやパッドに機能を割り当てる (CONTROL)

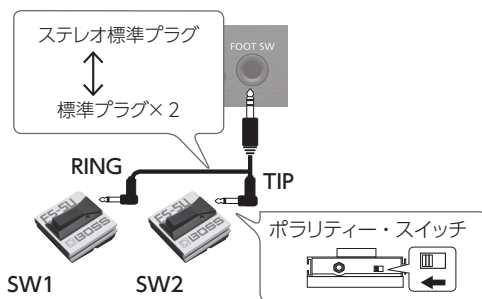
本機に接続したフットスイッチ (別売: BOSS FS-5U、FS-6) やパッドに、ドラム・キットの切り替えやセット・リストの切り替えなどの機能を割り当てることができます。

参照

設定できるパラメーターについては、『データ・リスト』(PDF) をご覧ください。

フットスイッチに機能を割り当てる

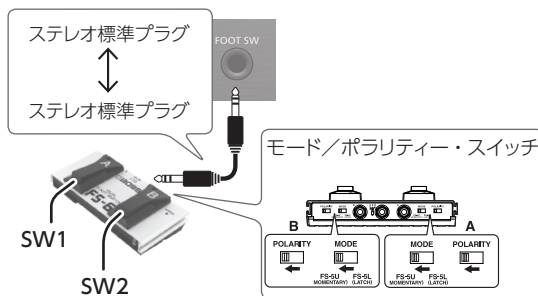
FS-5U を接続する場合



※ モノ・ケーブルで 1 台の FS-5U を接続する場合は、SW2 になります。

※ FS-5L は使用できません。

FS-6 を接続する場合



1. [SYSTEM] ボタンを押します。

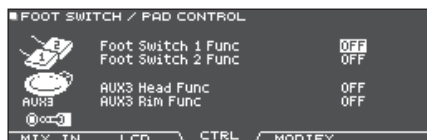
SYSTEM 画面が表示されます。

2. カーソル・ボタンで、[OPTION] を選び、[ENTER] ボタンを押します。

オプションの設定画面が表示されます。

3. [F3] (CTRL) ボタンを押します。

FOOT SWITCH / PAD CONTROL 画面が表示されます。



4. カーソル・ボタンでパラメーターを選び、ダイヤルで設定値を変更します。

メモ

パッドを叩いてセット・リスト (P.18) のドラム・キットを切り替えるときは、パッドに割り当てる機能を [KIT# DEC] または [KIT# INC] にし、DRUM KIT 画面で

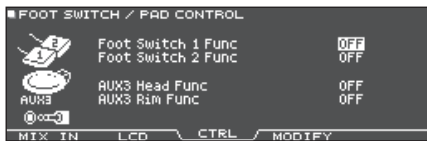
セット・リストをオンにしておきます (あらかじめ、セット・リストの設定をしておきます)。

5. [DRUM KIT] ボタンを押して、DRUM KIT 画面に戻ります。

パッドに機能を割り当てる

TRIGGER IN 端子 / AUX3 に接続したパッド、または AUX3 にアサインしたデジタル接続対応のパッドに、機能を割り当てることができます。

1. **[SYSTEM] ボタンを押します。**
SYSTEM 画面が表示されます。
2. **カーソル・ボタンで、[OPTION] を選び、[ENTER] ボタンを押します。**
オプションの設定画面が表示されます。
3. **[F3] (CTRL) ボタンを押します。**
FOOT SWITCH / PAD CONTROL 画面が表示されます。



4. カーソル・ボタンでパラメーターを選び、ダイヤルで設定値を変更します。

メモ

- パッドを叩いても音が鳴らないようにするには、PAD VOLUME で、AUX3 の音量を「0」にしてください。または、AUX3 のインストに「OFF」を選んでください (P.31)。
- パッドを叩いてセット・リスト (P.18) のドラム・キットを切り替えるときは、パッドに割り当てる機能を「KIT# DEC」または「KIT# INC」にし、DRUM KIT 画面でセット・リストをオンにしておきます (あらかじめ、セット・リストの設定をしておきます)。

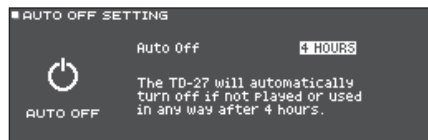
5. [DRUM KIT] ボタンを押して、DRUM KIT 画面に戻ります。

AUTO OFF 機能の設定をする (AUTO OFF)

本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます。自動的に電源が切れないようにするには、AUTO OFF 機能を解除してください。

※ 電源を再びオンにするときは、電源を入れ直してください。

1. **[SYSTEM] ボタンを押します。**
SYSTEM 画面が表示されます。
2. **カーソル・ボタンで「AUTO OFF」を選び、[ENTER] ボタンを押します。**
AUTO OFF SETTING 画面が表示されます。



3. ダイヤルで、オート・オフ機能の設定をします。

設定値	説明
OFF	電源は自動的に切れません。
4 HOURS	4 時間以内にパッドを叩かなかったり何も操作をしなかったりすると、自動的に電源が切れます。

メモ

AUTO OFF 機能を「4 HOURS」に設定していると、電源が切れる 30 分前に「MESSAGE: AUTO OFF, The TD-27 will turn off in 30 min.」のメッセージが表示されます。

4. [DRUM KIT] ボタンを押して、DRUM KIT 画面に戻ります。

本機に関する情報を表示する (INFO)

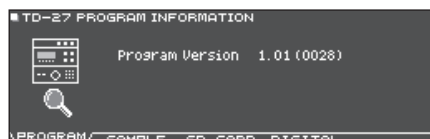
プログラムのバージョンなど、本機に関する情報を表示します。

1. [SYSTEM] ボタンを押します。

SYSTEM 画面が表示されます。

2. カーソル・ボタンで「[INFO]」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

インフォメーション画面が表示されます。



3. [F1] (PROGRAM) ~ [F4] (DIGITAL) ボタンを押して、設定する項目を選びます。

ボタン	説明
[F1] (PROGRAM)	プログラムのバージョンを表示します。
[F2] (SAMPLE)	取り込んだユーザー・サンプル数と、ユーザー・メモリーのユーザー・サンプルの残量を表示します。
[F3] (SD CARD)	SD カードに保存している、バックアップ・データ、キット・バックアップ・データを表示します。
[F4] (DIGITAL)	本機に接続しているデジタル接続対応パッドのプログラムのバージョンを表示します。 選ばれているパッドの FUNC ボタンが点滅します。

4. [DRUM KIT] ボタンを押して、DRUM KIT 画面に戻ります。

工場出荷時の設定に戻す (FACTORY RESET)

本機に記憶されている設定値を、工場出荷時の状態に戻します。これを「ファクトリー・リセット」と呼びます。

注意

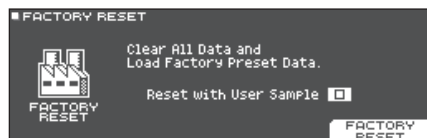
この操作をすると、本機にあるデータや設定がすべて失われます。必要なデータや設定は、SD カードに保存してください (P.47)。

1. [SYSTEM] ボタンを押します。

SYSTEM 画面が表示されます。

2. カーソル・ボタンで「[FACTORY RESET]」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

FACTORY RESET 画面が表示されます。



メモ

すべてのユーザー・サンプルも工場出荷時に戻す場合は、ダイヤルで、「Reset with User Sample」にチェックを入れます。ユーザー・メモリーのすべてのユーザー・サンプルは、工場出荷時のデータに上書きされます。

3. [F5] (FACTORY RESET) ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



中止するときは「[CANCEL]」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

4. カーソル・ボタンで「[OK]」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

ファクトリー・リセットが実行されます。

資料編

エラー・メッセージ

表示されるエラー・メッセージ一覧

メッセージ	意味	解決方法
Format SD Card Error!	SD カードのフォーマットに失敗しました。	SD カードを正しく挿入してください。 SD カードのロックを解除してください。
Incorrect File!	バックアップ・データまたはキット・バックアップ・データが壊れています。	このデータは使用しないでください。
MIDI Buffer Full!	大量の MIDI メッセージを短時間の間に受信したため、処理できません。	外部 MIDI 機器を正しく接続していることを確認してください。それでも直らないときは、本機へ送信する MIDI メッセージの量を少なくしてください。
MIDI Offline!	MIDI ケーブルまたは USB ケーブルが抜けました (または、何らかの原因で外部 MIDI 機器との通信がとぎれました)。	MIDI ケーブルまたは USB ケーブルの抜けや断線がないことを確認してください。
No Backup Data!	バックアップ・データが SD カードにありません。	-
No Data!	録音データが存在しないソングをエクスポートしようとした。	録音データが存在するソングをエクスポートしてください。
No SD Card!	SD カードが SD カード・スロットに差し込まれていません。	SD カードを正しく挿入してください。
Temporary Memory Full!	ソングレコーダーのテンポラリー・メモリーの記憶容量がいっぱいになり、録音を停止しました。	最大録音時間はSDカード挿入時は約60分、SDカード未挿入時は約3分です。
Song Data Too Long!	SD カード挿入時の録音できる長さの上限を超えたため、録音を停止しました。	
Sample Length Too Long!	オーディオ・ファイルが長すぎるため、取り込みできません。	180 秒以上のファイルは取り込めません。
Sample Length Too Short!	オーディオ・ファイルが短すぎるため、取り込みできません。	1 秒未満のオーディオ・ファイルは取り込めないことがあります。
SD Card is Locked!	SD カードがロックされています。	SD カードのロックを解除してください。
	ファイル属性が読み取り専用になっています。	ファイルが書き込み禁止になっていないか確認してください。
SD Card is not connected!	SD カードが SD カード・スロットに差し込まれていません。	SD カードを正しく挿入してください。
SD Card Media Error!	SD カードの内容が壊れています。	SD カード内の必要なデータをコピーしてから、SD カードを本機でフォーマットしてください (P.50)。それでも改善しない場合は、別の SD カードで試してください。
	録音データの保存に失敗しました。	SD カードのロック状態を確認してください。
	ソングのエクスポートに失敗しました。	ファイルが書き込み禁止になっていないか確認してください。
SD Card Memory Full!	SD カードに空き容量がありません。	不要なデータを削除してください (P.49)。
System Overload!	本体の処理が間に合いませんでした。	同時に発音する数を減らしてください。
Unsupported format!	本機でサポートされていないフォーマットです。	再生できるファイルのフォーマットがどうか確認してください (ソング P.22、ユーザー・サンプル P.35)。
User Sample Does Not Exist!	ユーザー・サンプルが存在しません。	ユーザー・サンプルが存在する場所を選んでください。
User Sample Exists!	ユーザー・サンプルが存在します。	ユーザー・サンプルを削除するか、あいている場所を選んでください。

User Sample Import Error!	インポート対象のオーディオ・データが壊れています。	このオーディオ・データは使用しないでください。
	SD カードの内容が壊れています。	この SD カードは使用しないでください。
User Sample Memory Error!	ユーザー・サンプルを含む、バックアップ・データまたはキット・バックアップ・データが壊れています。	このデータは使用しないでください。
	SD カードの内容が壊れています。	この SD カードは使用しないでください。
	空のユーザー・サンプルが割り当てられています (1 KIT SAVE のときのみ)。	空のユーザー・サンプルが割り当てられているキットは、1 KIT SAVE できません。
User Sample memory full!	ユーザー・サンプルの空き容量がありません。	不要なユーザー・サンプルを削除してください (P.37)。

その他のメッセージ

メッセージ	意味	解決方法
USB Driver The modified settings will become effective after power off and restart.	USB ドライバーの設定は、本体の電源を入れ直すと有効になります。	本体の電源を入れ直してください。
XStick always effective	クロス・スティック奏法が常に有効です。	-
XStick switch available	クロス・スティック・スイッチが有効になります。	DRUM KIT 画面で [F3] (XSTICK) ボタンを押すと、クロス・スティック音を鳴らす／鳴らさないの切り替えができます (P.17)。

故障かな?と思ったら

症状	確認事項	対策	ページ
音に関するトラブル			
音が出ない／音が小さい	本機とアンプ内蔵スピーカーなどの外部機器が正しく接続されていますか?	接続を確認してください。	P.10
	本機の音量が下がっていませんか?	[PHONES] または [MASTER] つまみで音量を調節してください。	-
	接続しているアンプ内蔵スピーカーのボリュームが下がっていませんか?	接続しているアンプ内蔵スピーカーの音量を調節してください。	-
	MIX IN 端子や Bluetooth 接続したスマートフォンなどのボリュームは下がっていませんか?	[BACKING] つまみ、またはスマートフォン側で調節してください。	-
	MIDI の [Local Control] が [OFF] になっていませんか?	通常は [ON] に設定します。	P.59
特定のパッドの音が出ない	各パッドやペダルにケーブルが正しく接続されていますか?	接続を確認してください。	P.10
	インストが [OFF] になっていませんか?	インストを割り当ててください。	P.30
	パッドの音量が下がっていませんか?	パッドの音量を調節してください。	P.31
	[OUTPUT] は正しく設定されていますか?	[OUTPUT] の設定を確認してください。	P.55
	ユーザー・サンプルが削除されていませんか?	パッドに割り当てられているユーザー・サンプルを削除すると、音が出なくなります。もう一度ユーザー・サンプルを取り込むか、他のインストを割り当ててください。	P.35
	パッドの [トリガー・タイプ] は正しく設定されていますか?	パッドの [トリガー・タイプ] を設定してください。	P.51
	TRIGGER IN 端子 / TRIGGER INPUT 端子または DIGITAL TRIGGER IN 端子に、接続ケーブルが正しく接続されていますか?	接続を確認してください。	P.10
TRIGGER IN 端子または TRIGGER INPUT 端子に接続したパッドを叩いても音が出ない／トリガーが反応しない	DIGITAL TRIGGER IN 端子に接続したパッドを、TRIGGER IN 端子 / TRIGGER INPUT 端子に接続したパッドと同じトリガー・インプットに割り当てると、TRIGGER IN 端子 / TRIGGER INPUT 端子に接続したパッドの音は出力されません。	DIGITAL TRIGGER IN 端子からパッドの接続ケーブルを抜いてください。	P.11
DIGITAL TRIGGER IN 端子に接続したパッドを叩いても音が出ない／トリガーが反応しない	トリガー・インプットを正しく設定していますか?	パッドを接続したら、どのトリガー・インプットで鳴らすか設定してください。	P.11
	カーボン製や金属製のスティックを使っていませんか?	木製や樹脂製のスティックをお使いください。カーボン製や金属製のスティックを使うと、センサーが誤動作することがあります。	-
	金属製のブラシを使っていませんか?	ナイロン製のブラシをお使いください。金属製のブラシを使うと、センサーが誤動作したりパッドを傷つけたりすることがあります。	-
SD カードに関するトラブル			
SD カードを挿入しても認識されない／データが見えない	正しく初期化 (フォーマット) されていますか?	本機で SD カードをフォーマットしてください。	P.50
MP3 / WAV ファイルが再生できない	MP3 ファイルのサンプリング周波数、ビット・レート、WAV ファイルのサンプリング周波数、量子化ビット数は本機に対応していますか?	本機に対応した MP3 / WAV ファイルをご使用ください。	P.22
	高いビット・レートの MP3 で再生速度を上げると、再生が間に合わない場合があります。		-
A-B リピートの時刻設定が正しくできない	MP3 では A-B リピート区間を正しく再生することができない場合があります。		-

症状	確認事項	対策	ページ
オーディオ・ファイルが鳴らない/取り込めない	オーディオ・ファイルの形式は正しいですか?	オーディオ・ファイルの形式、ファイル名、拡張子を確認してください。	P.22 P.35
	オーディオ・ファイルの置き場所は正しいですか?	オーディオ・ファイルの置き場所を確認してください。	P.22
	多数のオーディオ・ファイルをフォルダー内に置いていませんか?	フォルダー内のオーディオ・ファイルは、200 個以下にしてください。	-
USB に関するトラブル			
パソコンと接続できない	USB ケーブルが正しく接続されていますか?	接続を確認してください。	P.10
	USB AUDIO として音声を送受信するには、USB ドライバーのインストールが必要です。	パソコンに USB ドライバーをインストールしてください。	P.28
	USB 2.0 対応のケーブルを使用していますか?	USB 3.0 対応のケーブルは使用できません。USB 2.0 対応のケーブルを使用してください。	-
	Driver Mode は正しく設定されていますか?	使いかたに応じて変更してください。	P.58
MIDI に関するトラブル			
音が出ない	MIDI ケーブルが正しく接続されていますか?	接続を確認してください。	P.10
	MIDI チャンネルは合っていますか?	本機と外部 MIDI 機器の MIDI チャンネルを合わせてください。	P.59
	ノート・ナンバーは合っていますか?	パッドの「NOTE NO.」を設定してください。	P.59

Bluetooth 機能に関するトラブル

症状	確認事項/対策	ページ	
スマートフォンに、「TD-27」が表示されない	本機の Bluetooth 機能が「OFF」になっていませんか? Bluetooth オーディオ機能: ペアリングを開始 ([F1] ボタン) すると、スマートフォンに「TD-27 AUDIO」というデバイス名が表示されます。 Bluetooth MIDI 機能: [F2] (SETUP) → [Bluetooth MIDI] → ON Bluetooth MIDI 対応のアプリ (Garage Band など) の設定から、ペアリングを開始します。	P.46	
Bluetooth オーディオに接続できない	スマートフォンの Bluetooth デバイス欄に「TD-27 AUDIO」が表示されている場合	スマートフォンの設定で、Bluetooth デバイス「TD-27 AUDIO」の登録を一度解除してから、Bluetooth 機能をオフ → オンにして、ペアリングし直してしてください。	-
	スマートフォンの Bluetooth デバイス欄に「TD-27 AUDIO」が表示されていない場合	スマートフォンの設定で、Bluetooth 機能をオフ → オンにしてから、本機からペアリングを開始し、ペアリングし直してしてください。	-
Bluetooth MIDI に接続できない	Bluetooth MIDI 機能は、スマートフォンの Bluetooth 設定ではなく、Bluetooth MIDI 対応のアプリ内 (Garage Band など) の設定で「TD-27 MIDI」を選んでペアリングします。スマートフォンの Bluetooth デバイス欄に「TD-27 MIDI」が表示されてもタップしないでください。タップした場合は、「TD-27 MIDI」を解除してから Bluetooth 機能をオフ → オンにして、接続し直してしてください。	-	
ペアリングしたスマートフォンがつかまらない	接続してもすぐに切れてしまうときは、スマートフォンの Bluetooth 機能を一度オフにして再度オンにすると、接続される場合があります。	-	